

島根県教育庁

# 埋蔵文化財調査センター一年報 25

平成 28 年度

2017 年 3 月

島根県教育委員会



1. 久村鉞山跡（出雲市）選鉞所跡



2. 出雲国府跡（松江市）

# 目 次

埋蔵文化財調査センターの概要	1
I 平成 28 年度の体制	2
1. 組 織	2
2. 職員一覧	3
II 埋蔵文化財活用事業	4
1. 埋蔵文化財調査センター講演会	4
2. 現地説明会	4
3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』	5
4. 心に残る文化財子ども塾	5
5. 職場体験等の受け入れ	6
6. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業	7
7. 教員のための文化財活用講座	7
8. 見学等の案内	7
9. 職員の講師派遣	8
10. その他	8
11. 資料の貸出・調査等	10
(1) 資料調査	10
(2) 写真資料等	11
(3) 資料貸出	14
(4) その他	15
III 研究事業	16
IV 研修事業	16
1. 埋蔵文化財基礎研修	16
2. 埋蔵文化財専門研修	17
V 会議参加	18
VI 発掘調査事業	19
1. 一般国道 9 号（出雲湖陵道路）改築工事に伴う発掘調査	20
2. 一般国道 9 号（湖陵多伎道路）改築工事に伴う発掘調査	22
3. 一般国道 9 号（朝山大田道路）改築工事に伴う発掘調査	23
4. 一般国道 9 号（大田静間道路）改築工事に伴う発掘調査	25
5. 一般国道 9 号（静間仁摩道路）改築工事に伴う発掘調査	27
6. 一般国道 9 号（三隅益田道路）改築工事に伴う発掘調査	29
7. 県庁第二庁舎非常用発電機整備工事に伴う発掘調査	33
8. 島根県原子力防災センター地下オイルタンク埋設工事に伴う発掘調査	34

VII	学術調査等	35
1.	史跡出雲国府跡	35
2.	考古資料基礎調査研究（墓制調査）	36
3.	考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）	36
4.	保存処理	37
5.	試掘分布調査	40
VIII	県内発掘調査一覧	41
IX	刊行物等	46
1.	ドキ土器まいぶん	46
2.	発掘調査報告書	46
3.	発掘だより	47

# 埋蔵文化財調査センターの概要

## 埋蔵文化財調査センターの設置目的

島根県には、多数の青銅器が発見され全国的に注目された荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡をはじめ、全国で唯一ほぼ完本で伝わる『出雲国風土記』、国宝の出雲大社本殿、神魂神社本殿、松江城天守、世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡など貴重な文化遺産が数多く存在しています。

その一方で、県内では1980年代から道路建設やダム建設などの各種開発事業が急増し、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が課題となってきました。そこで、これらの課題に対処するとともに、県内の埋蔵文化財を調査・研究・保護し、調査成果の普及啓発を進めていくことを目的として、1992（平成4）年に埋蔵文化財調査センターが設置されました。

## 埋蔵文化財調査センターの業務

- 埋蔵文化財の調査及び研究
- 出土遺物の分析（軟X線検査装置・赤外線映像撮影装置・実体顕微鏡など）
- 出土遺物の保存処理（木製品・金属製品）
- 考古資料の保存・収蔵・管理・活用
- 埋蔵文化財に関する研修（専門研修・埋蔵文化財基礎研修）
- 調査成果の普及活用（心に残る文化財子ども塾・文化財講座・講演会など）

**設立年月日** 平成4(1992)年4月1日

**所在地** 〒690-0131 島根県松江市打出町33番地 TEL0852-36-8608 FAX0852-36-8025

Eメールアドレス [maibun@pref.shimane.lg.jp](mailto:maibun@pref.shimane.lg.jp)

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

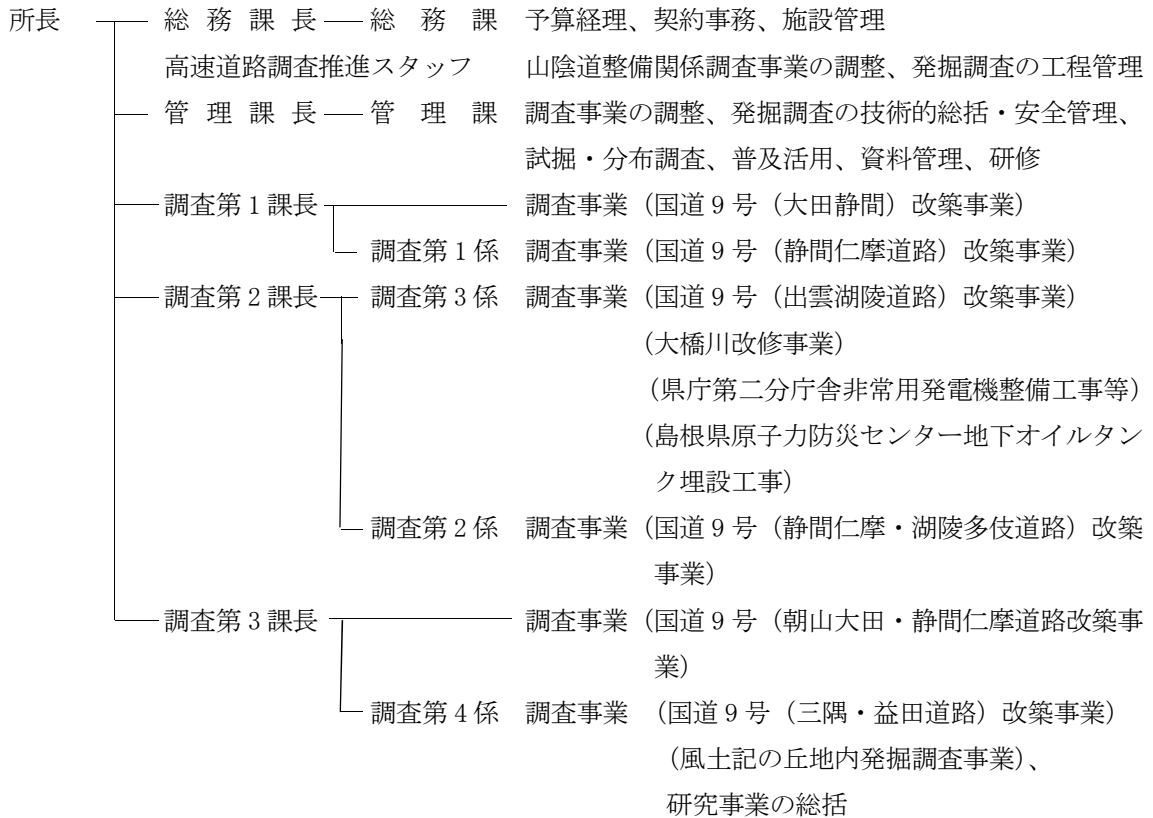
## 施設と規模

本館棟	展示室	175 m <sup>2</sup>	収蔵庫	収蔵庫	1,448 m <sup>2</sup>	
	研修室	155 m <sup>2</sup>		機材庫・車庫	機材庫・車庫	172 m <sup>2</sup>
	所長室	25 m <sup>2</sup>				
	事務室・調査研究室	315 m <sup>2</sup>	小 計		1,620 m <sup>2</sup>	
	図書室	73 m <sup>2</sup>	いにしえ学習館棟	体験学習室	95 m <sup>2</sup>	
	資料保管室	75 m <sup>2</sup>		整理復元室	576 m <sup>2</sup>	
	特別収蔵室	122 m <sup>2</sup>		木器保管展示室	197 m <sup>2</sup>	
	写場	33 m <sup>2</sup>		仮収蔵室（兼写場）	86 m <sup>2</sup>	
	整理復元室	429 m <sup>2</sup>		収蔵庫	2,463 m <sup>2</sup>	
	理化学分析室	35 m <sup>2</sup>		その他	279 m <sup>2</sup>	
	鉄器処理室	35 m <sup>2</sup>				
	木器処理室	35 m <sup>2</sup>				
	水洗室	70 m <sup>2</sup>				
	その他	942 m <sup>2</sup>				
小 計		2,519 m <sup>2</sup>	合 計		7,835 m <sup>2</sup>	

# I 平成 28 年度の調査体制

## 1. 組織

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター



## 2. 職 員 一 覧

職 名	氏 名
所 長	萩 雅 人
総務課	
課 長	渡 部 宏 之
企画員	椋 木 範 子
嘱託員	濱 田 佐 知 子
	三 島 美 葉 子
事務補助員	安 達 恵 子
高速道路推進スタッフ	
企画幹	柳 浦 俊 一
管理課	
課 長	池 淵 俊 一
文化財保護主任	神 柱 靖 彦
(兼)文化財保護主任	澤 田 正 明
調査補助員	上 山 晶 子
調査第1課	
課 長	今 岡 一 三
文化財保護主任	伊 藤 智
調査第1係長	宮 本 正 保
企画員	増 田 浩 太
嘱託員	阿 部 賢 治
	園 山 薫
調査補助員	飯 塚 由 起
	伊 東 豊
	幸 村 康 子
	坂 根 健 悦
	佐 野 木 信 義
	田 中 玲 子

職 名	氏 名
調査第2課	
課長	守 岡 正 司
調査第2係長	中 川 寧
企画員	仁 木 聡
調査第3係長	勝 部 智 明
主任主事	人 見 麻 生
嘱託員	内 田 律 雄
調査補助員	阿 部 智 子
	糸 賀 伸 文
	岩 田 剛
	坂 根 健 悦
	岩 橋 康 子
	片 寄 雪 美
	高 木 優 子
	福 田 市 子
	無 川 美 和 子
	米 田 美 江 子
調査第3課	
課 長	林 健 亮
調査第4係長	是 田 敦
企画員	伊 藤 徳 広
	久 保 田 一 郎
嘱託員	松 山 智 弘
調査補助員	岩 本 真 実
	小 川 一 樹
	川 崎 英 司
	佐 伯 幸 俊
	世 良 啓 子
	秦 愛 子

## II 埋蔵文化財活用事業

島根県埋蔵文化財調査センターでは、埋蔵文化財の保護を円滑に行うために調査成果の公開、県民や学校教育現場などへの普及活用事業を行っている。

### 1. 埋蔵文化財調査センター講演会

島根県埋蔵文化財調査センターが実施している発掘調査の成果等を県民に分かりやすく情報発信する講演会で、年に一度島根県内において開催している。

平成 28 年度は、石見を代表する縄文時代から弥生時代にかけての集落遺跡である大田市古屋敷遺跡の発掘調査成果をテーマに、講演や報告、鼎談を以下のとおり開催した。

平成 28 年度島根県埋蔵文化財調査センター講演会

「新発見！！石見最大級の縄文ムラ～古屋敷遺跡が語る縄文文化～」

日 時：平成 28 年 11 月 26 日（土）13：00～17：00（12：30 開場）

会 場：大田市民会館中ホール

参加者数：120 名

主 催：島根県埋蔵文化財調査センター・大田市教育委員会

内 容：

- ・講演「縄文時代研究からみた古屋敷遺跡」

山田 康弘（国立歴史民俗博物館教授）

- ・報告「発掘調査でわかった古屋敷縄文ムラ」

宮本 正保（島根県埋蔵文化財調査センター調査第一係長）

- ・報告「縄文人の暮らしぶり」

柳浦 俊一（島根県埋蔵文化財調査センター企画幹）

- ・鼎談「ここまでわかった石見の縄文時代」

山田康弘/柳浦俊一/宮本正保

### 2. 現地説明会

調査中の遺跡の一般公開、調査地近隣自治会への調査成果報告会を行った。

遺跡名	開催日	場所	参加者	備考
山陰道馬橋地区 榎坂窯跡	平成 28 年 10 月 2 日（日）	益田市遠田町	60 名	
浅柄Ⅲ遺跡	平成 28 年 10 月 15 日（土）	出雲市知井宮町	60 名	
静間城跡 平ノ前遺跡	平成 28 年 10 月 15 日（土）	大田市静間町	100 名	
松林寺遺跡	平成 28 年 11 月 12 日（土）	大田市仁摩町	70 名	



出雲国府跡	平成 28 年 11 月 27 日 (土)	松江市大草町	60 名	
久村鉦山跡選鉦 所地区	平成 28 年 12 月 17 日 (土)	出雲市多伎町	60 名	
合 計				約 410 名

### 3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』

埋蔵文化財をより身近に感じてもらうことを目的とし、調査の成果や当センターで保管している出土品などを活用して開催する講座。今年度は、親子等を対象とし体験的な活動を中心とした催しとして「いにしえ倶楽部」を 2 回計画した。また歴史や文化財に興味関心のある一般の方を対象とした講義形式での講座「いにしえ倶楽部連続講座」を 3 回行った。

#### 【いにしえ倶楽部】

	会場	内容	参加 者数	実施日	備考
第 66 回いにしえ倶楽部 『みがいて作ろう！古 代の鏡』	益田市益田町 益田市市民学習セン ター	遺跡出土の青銅鏡解 説・展示・ミニ金属 鏡の鑄造研磨体験	50 名	8 月 20 日 (土)	
第 67 回いにしえ倶楽部 『天領石見銀山魅力再 発見探訪バスツアー』	石見銀山世界遺産セ ンターほか	展示施設や史跡等解 説付きで巡見	40 名	11 月 13 日 (日)	
合 計	90 名				

#### 【いにしえ倶楽部 連続講座】

実施日	演題	講師	参加数	備考
平成 28 年 7 月 31 日 (日)	「しまねの古墳時代研究最前線」	仁木 聡	90 名	
平成 29 年 1 月 14 日 (土)	「四隅突出型墳丘墓から方墳へ ～卑弥呼の外交と出雲～」	松山智弘	100 名	
平成 29 年 3 月 4 日 (土)	「旧石器人、しまねを目指す～ 石器が語るしまねのあけぼの～」	伊藤徳広	100 名	
合 計	290 名			

### 4. 心に残る文化財こども塾

県内の小・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に、埋蔵文化財を教材とし、古代体験活動や遺跡見学を盛り込んだ出前授業を行った。

	学校名	実施日	対象学 年	人 数	テーマ・主題等	体験活動等
1	出雲市立平田小学校	5 月 11 日 (水)	6	69	大仏パネル	大仏パネル
2	雲南市立佐世小学校	5 月 16 日 (月)	6	13	学校周辺の遺跡と土器作り	土器作り
3	安来市立宇賀荘小学校	5 月 16 日 (月)	5・6	16	大仏パネル	大仏パネル
4	安来市赤屋小学校	5 月 17 日 (火)	5・6	9	地域の遺跡歴史について	金属鏡作り
5	浜田市立三階小学校	5 月 20 日 (金)	6	31	和同開珎作り・大仏パネル	和同開珎作り・大仏パネル

6	出雲市立さくら小学校	5月24日(火)	6	37	地域の古墳めぐり・勾玉づくり	勾玉づくり
7	隠岐の島町立五箇小学校	5月24日(火)	6	9	勾玉づくり	勾玉づくり
8	出雲市立中部小学校	5月25日(水)	6	67	大仏パネル	大仏パネル
9	出雲市立宍道中学校・ 来待小学校 大野原分校	5月27日(金)	小6・ 中1	3	金属鏡作り・勾玉づくり	金属鏡作り 勾玉づくり
10	安来市立赤江小学校	5月27日(金)	6	49	校区周辺の遺跡	埴輪づくり
11	奥出雲町立布施小学校	6月1日(水)	6	13	校区周辺の遺跡	勾玉づくり
12	益田市立益田西小学校	6月1日(水)	6	34	勾玉づくり	勾玉づくり
13	大田市立久屋小学校	6月2日(木)	6	12	大仏パネル	大仏パネル
14	松江市立古江小学校	6月3日(金)	6	42	埴輪づくり・古曾志公園見学	埴輪づくり・古曾志公園見学
15	出雲市立朝山小学校	6月7日(火)	6	24	和同開珎作り	和同開珎作り
16	安来市立井尻小学校	6月7日(火)	5・6	14	校区周辺の遺跡	土器作り
17	浜田市立雲雀丘小学校	6月7日(火)	6	18	和同開珎作り・大仏パネル	和同開珎作り・大仏パネル
18	浜田市立松原小学校	6月8日(水)	6	36	浜田の古代・大仏パネル	大仏パネル
19	出雲市立荒木小学校	6月9日(木)	6	70	大仏パネル	大仏パネル
20	益田市立鎌手中学校	6月14日(火)	2	1	土器作り	土器作り
21	雲南市立海潮小学校	6月17日(金)	6	17	郷土の歴史・勾玉づくり	勾玉づくり
22	雲南市立阿用小学校	6月20日(月)	6	8	阿用の歴史	和同開珎作り・大仏パネル
23	吉賀町立蔵木小学校	6月23日(木)	4~6	8	和同開珎作り	古代食作り
24	松江市立来待小学校	7月19日(火)	1・2・5	5	古代食作り	古代食作り
25	松江養護学校	9月27日(火)	中3	18	古墳時代の社会	ろう鏡作り

合計 25 校 のべ参加児童生徒 623 人

## 5. 職場体験学習等の受け入れ

学校および希望者からの依頼を受け、職場体験の生徒、インターンシップの学生を受け入れた。

実施日	学校等	実施内容
8月22日(月)～ 26日(金)	しまね学生インターンシップ体験者 2名	発掘調査・整理作業
9月12日(月)～ 16日(金)	松江市立湖北中学校3年生1名	発掘調査・整理作業
10月21日(金)	しまね東部若者サポートセンター利 用者3名	出土遺物の復元・接合作業
3月6日(月)～8 日(水)	しまね東部若者サポートセンター利 用者1名	出土遺物の復元・接合作業他

## 6. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業

島根県埋蔵文化財調査センターが保管している土器や石器を学校等へ貸し出し、地域の歴史や文化財を学ぶための教材として活用している。

	貸出しセット名（セット番号）	申請者	使用目的	貸出期間
1	弥生食卓セットA（12） 弥生稲作セットA（15）	八雲立つ風土記の丘所長	大庭小学校での体験 授業	5月10日～ 5月11日
2	縄文狩猟セットA（1） 縄文採集セットA（5） 縄文土器セットA（6） 弥生食卓セットA（12）	松江市立意東小学校 校長	社会科学習教材として利用	5月11日～ 5月12日

## 7. 教員のための文化財活用講座

当センターでは県内小中学校教員等を対象とし、身近な地域に根ざした学習の創造に資するため地域の文化財や郷土の歴史資料等を活用した学習活動についての研修を年1回開催している。

今年度は、島根県立古代出雲歴史博物館と共催で実施した。

開催日：平成28年8月3日（水）13：00～16：00

主催：島根県埋蔵文化財調査センター・島根県立古代出雲歴史博物館

会場：古代出雲歴史博物館

参加者：12名

内容：

13:00～13:45 埋蔵文化財調査センター、古代出雲歴史博物館学校連携事業の概要説明

13:45～14:30 施設（バックヤード含む）・展示見学

14:30～16:00 ワークショップ（石膏銅鐸、低融点金属鏡作り）

## 8. 見学等の案内

埋蔵文化財調査センターでは展示室は開庁時開放し見学受け入れを行っているほか、学校や各種団体等より事前申し込みがあった際は整理作業や収蔵状況等の見学案内、古代体験活動、隣接する古墳の丘古曾志公園の案内を行っている。

発掘調査現場では、受入れ対応が可能な場合は見学案内を行っており、今年度は以下の発掘調査現場において見学案内等を行った。

埋文センター見学案内

月 日	見学者（団体）	時間	人数	見学案内	体験活動
8月30日	松江市古志原公民館 遊友大人塾	90分	35名	所内・公園	
11月14日	くにびき学園東部校1年	90分	24名	所内	
11月29日	出雲市立北浜小学校5・6年生	100分	6名	所内・公園	
合 計					65名

発掘調査現場見学案内

月 日	見学者 (団体)	時間	人数	場所
7月20日	静間町まちづくりセンター	120分	40名	大田市静間城跡、平ノ前遺跡
9月21日	益田市立鎌手中学校 3・4年生	60分	20名	益田市榎坂窯跡、山陰道馬橋地区
合 計			60名	

9. 職員の講師派遣 (平成28年1月4日以降に申請があったもの)

各種団体等からの依頼を受け講演会や古代体験学習等への職員派遣を認めた。

月日	内容	場所	派遣依頼者	講師
3月12日	風土記の丘教室での講演	八雲立つ風土記の丘 (松江市)	八雲立つ風土記の丘 所長	中川 寧
4月23日	風土記の丘教室での講演	八雲立つ風土記の丘 (松江市)	八雲立つ風土記の丘 所長	是田 敦
5月21日	ボランティアガイドスキルアップ研修	鳥取県立むきばんだ史跡公園 (鳥取県米子市)	鳥取県立むきばんだ史跡公園所長	中川 寧
11月19日	荒神谷博物館講演会	荒神谷博物館 (出雲市)	荒神谷博物館館長	今岡一三
11月19日	古代体験学習 (勾玉づくり) 指導	松江市立古志原小学校	古志原小学校保護者会3年部	池淵俊一 神柱靖彦
2月11日	風土記の丘教室での講演	八雲立つ風土記の丘 (松江市)	八雲立つ風土記の丘 所長	内田律雄
2月19日	文化講演会	静間まちづくりセンター (静間町)	静間町文化協会長	今岡一三 伊藤 智
2月26日	しまごと大学講座 特別講座	壱岐市立一支国博物館 (長崎県壱岐市)	壱岐市立一支国博物館 館長	仁木 聡

## 10. その他

- ①サンレイクフェスティバル 2016 への参加（主催：島根県立青少年の家ほか）

期日：平成 28 年 10 月 16 日（日）8：30～17：00

会場：島根県立青少年の家「サン・レイク」

内容：勾玉作り体験ブース（200 個）

- ②島根県立古墳の丘古曾志公園「ウォーキング事業」への協力

主催：株式会社MIしまね（公園指定管理者）

期日：平成 28 年 11 月 3 日 9:00～11:40

会場：古墳の丘古曾志公園、丹花庵古墳

内容：古墳解説

- ③島根県立古墳の丘古曾志公園「古曾志公園春まつり」への協力

主催：株式会社MIしまね（公園指定管理者）

期日：平成 29 年 3 月 25 日

会場：古墳の丘古曾志公園

内容：勾玉づくり指導

- ④第 10 回国府まつりへの協力

主催：島根県立八雲立つ風土記の丘

期日：平成 28 年 10 月 23 日（日）10:00～14:00

会場：史跡公園 出雲国府跡

内容：発掘調査現場の見学会

## 11. 資料の貸出・調査等

(1) 資料調査（平成28年1月5日～12月25日まで申請のあったもの）

研究や展示借用の事前調査など、資料の詳細観察に関して応じている。

### 【展示・研究に用いたもの】

	資料名	点数	申請者	月日
<b>【平成27年度1～3月】</b>				
1	岩塚Ⅱ遺跡出土石器ほか	492	古代文化センター職員	1月12日～1月29日
2	島田黒谷Ⅰ遺跡出土土器ほか	128	埋蔵文化財調査センター職員	1月15～2月10日
3	社日1号墳出土標石ほか	13	出雲弥生の森博物館学芸員	1月19日
4	大田屋窯跡出土陶器	50	埋蔵文化財調査センター職員	1月16日～3月25日
5	飯田A遺跡出土陶器ほか	5	埋蔵文化財調査センター職員	1月26日～27日
6	郷路橋遺跡出土陶器ほか	118	埋蔵文化財調査センター職員	2月19日～20日
7	大津北遺跡出土土器ほか	31	埋蔵文化財調査センター職員	2月15日～3月18日
8	面白谷遺跡出土石器ほか	615	古代文化センター職員	2月18日～26日
9	庄遺跡出土土器ほか	144	八雲立つ風土記の丘学芸員	2月24日
10	山持遺跡出土玉ほか	188	古代文化センター職員	2月29日～3月7日
11	新宮党館跡出土陶磁器ほか	98	埋蔵文化財調査センター職員	3月11日
12	西川津遺跡出土土笛ほか	18	下関市立考古博物館学芸員	3月17日
<b>【平成28年度】</b>				
1	出雲国府跡出土土器	23	埋蔵文化財調査センター職員	4月12日～13日
2	竹子Ⅰ遺跡出土石器	9	埋蔵文化財調査センター職員	4月21日
3	中野清水遺跡出土玉ほか	40	古代文化センター職員	4月26日～5月9日
4	二子塚古墳出土埴輪ほか	72	埋蔵文化財調査センター職員	5月6日～6月30日
5	飯田A遺跡出土陶磁器	3	古代出雲歴史博物館学芸員	5月18日
6	馬場遺跡出土土器ほか	22	個人	5月19日～20日
7	面白谷遺跡出土玉未成品ほか	107	国立民族学博物館教授	5月20日
8	来美廃寺出土仏像片	8	出雲弥生の森博物館学芸員	5月20日
9	東淵寺古墳出土埴輪	40	埋蔵文化財調査センター職員	6月6日～12月28日
10	蔵小路西遺跡出土陶磁器ほか	39	出雲弥生の森博物館学芸員	6月27日
11	青木遺跡出土木簡ほか	712	斎宮歴史博物館学芸員	6月29日
12	島田遺跡出土玉類ほか	190	奈良県立橿原考古学研究所留学生	7月1日～8日
13	布志名焼窯跡出土陶磁器	36	埋蔵文化財調査センター職員	7月4日
14	岡田薬師山古墳出土玉ほか	189	古代文化センター職員	7月25日～8月12日
15	日脚遺跡出土埴輪ほか	58	古代文化センター職員	7月25日～8月31日
16	西川津遺跡出土土器ほか	103	鳥取県職員	8月1日
17	西川津遺跡出土クルミ	1箱	埋蔵文化財調査センター職員	8月4日～5日
18	塩津山1号墳出土土器ほか	46	島根大学准教授	8月12日～15日
19	西川津遺跡出土櫛ほか	52	奈良大学学生	8月29日

20	中野清水遺跡出土銅製品ほか	12	福岡大学学生	8月31日
21	西川津遺跡出土石包丁ほか	145	山口大学学生	9月14日
22	飯田 A 遺跡出土陶器ほか	173	江津市職員	9月30日
23	大角山遺跡出土玉ほか	199	古代文化センター職員	10月11日～21日
24	岩屋口南遺跡出土玉類ほか	154	古代文化センター職員	10月11日～24日
25	出雲国府跡出土鷗尾ほか	201	出雲弥生の森博物館学芸員	10月12日～13日
26	西 I 遺跡出土玉ほか	5	古代文化センター職員	10月20日～21日
27	山持遺跡出土土器ほか	28	島根大学准教授	10月27日～30日
28	沖手遺跡出土陶磁器	3箱	古代文化センター職員	11月12日
29	道休畑遺跡出土植物遺体	4	名古屋大学大学院学生	11月24日
30	山持遺跡出土土器ほか	28	島根大学学生	11月1日～12月20日
31	東淵寺古墳出土土器	4	古代文化センター職員	11月28日～12月16日
32	石田遺跡出土陶磁器ほか	40	埋蔵文化財調査センター職員	11月31日
33	古八幡遺跡出土土器ほか	118	個人	12月1日～12月2日
34	山持遺跡出土土器ほか	104	島根県立八雲立つ風土記の丘学芸員	12月6日
35	西川津遺跡出土石器	22	埋蔵文化財調査センター職員	12月10日～2月28日
36	タテチヨウ遺跡出土土器ほか	11	古代出雲歴史博物館学芸員	1月13日
37	出雲国府跡出土土器ほか	108	古代出雲歴史博物館学芸員	1月24日
38	東淵寺古墳埴輪ほか	48	島根県立八雲立つ風土記の丘学芸員	2月6日
39	出雲国府跡出土土器	49	大阪府職員	2月7日
40	古志本郷遺跡出土土器ほか	50	埋蔵文化財調査センター職員	2月13日
41	沖手遺跡出土陶磁器	6	古代文化センター職員	2月13日
42	原田遺跡出土縄文土器ほか	455	愛媛大学准教授	3月7日

**(2) 写真資料等** (平成 28 年 1 月 5 日～平成 28 年 12 月 25 日までに申請があったもの)

単行本、雑誌、展示図録などの写真の掲載に応じている。

	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
【平成 27 年度 1～3 月】					
1	布志名大谷Ⅲ遺跡出土標石ほか	11	出雲弥生の森博物館	企画展展示	1月15日
2	荒神谷遺跡出土銅矛	1	株式会社育鵬社	書籍掲載	1月25日
3	三田谷 I 遺跡丸木舟出土状況ほか	52	出雲市建設企画課	展示	2月15日
4	荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	株式会社帝国書院	書籍掲載	2月8日

5	玉泉寺遺跡出土標石	1	出雲弥生の森博物館	企画展展示	2月15日
6	大西大師山遺跡	2	株式会社ジャパン通信情報センター	書籍掲載	2月22日
7	市井深田遺跡ほか	18	八雲立つ風土記の丘	速報展示	3月3日
8	古八幡遺跡出土木製品	1	北海道立北方民族博物館	図録掲載	3月14日
9	荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	株式会社日本入試センター	書籍掲載	3月23日
【平成28年度】					
1	荒神谷遺跡出土銅剣	1	株式会社はる制作室	書籍掲載	4月14日
2	荒神谷遺跡出土銅剣・銅矛銅矛ほか	4	有限会社三猿舎	書籍掲載	4月18日
3	穴神1号横穴墓石棺ほか	12	個人	学会発表	5月12日
4	姫原西遺跡出土木製鋤	1	株式会社ランズ	書籍掲載	5月23日
5	来美廃寺ほか	3	出雲弥生の森博物館	企画展展示	6月1日
6	荒神谷6号銅鐸	3	荒神谷博物館	企画展展示	6月9日
7	荒神谷遺跡出土銅剣・銅矛	2	株式会社育鵬社	書籍掲載	6月13日
8	蔵小路西遺跡全景ほか	5	出雲弥生の森博物館	企画展展示	6月13日
9	荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡銅鐸ほか	6	株式会社オフィス・イデオム	書籍掲載	6月17日
10	加茂岩倉遺跡出土銅鐸集合	1	株式会社確文堂	書籍掲載	6月21日
11	タテテヨウ遺跡出土櫛ほか	1	個人	論文掲載	6月27日
12	荒神谷遺跡青銅器集合	1	株式会社悠工房	書籍掲載	6月28日
13	荒神谷遺跡発掘	3	古代出雲歴史博物館	ロビー展示	7月7日
14	出雲国府跡出土玉類ほか	2	株式会社吉川弘文館	書籍掲載	7月14日
15	姫原西遺跡橋遺構	1	個人	書籍掲載	7月13日
16	原の前遺跡噴砂	1	古代文化センター	書籍掲載	7月15日
17	荒神谷遺跡出土青銅器ほか	12	株式会社NHK出版	書籍掲載	8月8日
18	史跡出雲国府全景	1	株式会社吉川弘文館	書籍掲載	8月22日
19	元宮遺跡出土遺物一括ほか	22	八雲立つ風土記の丘	企画展展示	8月22日
20	古志本郷遺跡郡庁建物跡	1	古志コミュニティーセンター	パンフレット掲載	8月30日
21	荒神谷遺跡出土青銅器	1	株式会社 悠工房	書籍掲載	8月31日



22	小久白遺跡出土陶器	1	個人	書籍掲載	9月9日
23	青木遺跡神像ほか	12	荒神谷博物館	企画展展示	9月21日
24	堤平遺跡出土土器	1	古代文化センター	新聞掲載	9月24日
25	大原遺跡・堂床遺跡出土玉類	2	小松市埋蔵文化財センター	企画展展示	10月6日
26	意宇平野の空中写真	1	松江市まちづくり部史料編纂室	書籍掲載	10月12日
27	松本古墳群Ⅰ区道路遺構	1	出雲弥生の森博物館	企画展展示	10月11日
28	下布施氏館跡	2	古代文化センター職員	新聞掲載	10月21日
29	五反配遺跡ほか	3	古代出雲歴史博物館	イベント展示	10月24日
30	埋文センター展示状況	1	株式会社えすみ	記念行事	10月28日
31	荒神谷遺跡空中写真	1	NHK エデュエーションナル	番組使用及び 関連書籍掲載	11月1日
32	青木遺跡第一号人骨ほか	18	荒神谷博物館	企画展展示	11月1日
33	重富遺跡遠景ほか	4	出雲弥生の森博物館	企画展展示	11月9日
34	来美廃寺軒丸瓦ほか	3	隠岐の島町教育委員会	参考資料として 報告書に掲載	11月10日
35	四王寺基壇検出状況	1	出雲弥生の森博物館	秋季企画展 展示	11月13日
36	山持遺跡調査風景ほか	21	八雲立つ風土記の丘	ミニ企画展	12月7日
37	荒神谷遺跡出土銅鐸集合	1	株式会社 アマゾンラテルナ	番組で使用	12月13日
38	板屋Ⅲ遺跡空中写真ほか	2	株式会社 雄山閣	書籍掲載	12月16日
39	上塩冶横穴墓群第22支群	9	出雲市建設企画課	図録掲載	12月26日
40	三田谷Ⅰ遺跡出土縄文土器	1	株式会社雄山閣	書籍掲載	1月4日
41	青木遺跡出土陶器	1	古代文化センター職員	新聞掲載	1月5日
42	荒神谷遺跡銅鐸・銅矛出土状況	1	NHK エンタープライズ	番組で使用	12月9日
43	荒神谷遺跡出土銅剣・銅鐸	2	株式会社はる制作室	書籍掲載	1月13日
44	青木遺跡出土鉄鍬ほか	10	福井県美浜町教育委員会	書籍掲載	1月17日
45	六重南遺跡出土鉄器ほか	1	古代出雲歴史博物館	展示図録	2月2日

**(3) 資料貸出** (平成 28 年 1 月 5 日～12 月 25 日までに申請のあったもの)

所蔵する資料を有効に活用するために、外部からの依頼に応じて貸出を行っている。

	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
<b>【平成 27 年度 1 月～3 月】</b>					
1	社日 1 号墳出土標石ほか	14	出雲弥生の森博物館	特別展	2 月 22 日～5 月 27 日
2	庄遺跡出土土器ほか	140	八雲立つ風土記の丘	速報展	3 月 18 日～5 月 27 日
<b>【平成 28 年度】</b>					
1	来美廃寺出土仏像片ほか	9	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展	5 月 26 日～10 月 21 日
2	仁右衛門山遺跡出土陶器 ほか	75	古代出雲歴史博物館	企画展	7 月 6 日～10 月 30 日
3	家ノ後Ⅱ遺跡出土耳飾りほ か	630	八雲立つ風土記の丘	ミニ企画展	7 月 8 日～9 月 24 日
4	大畑遺跡出土陶磁器ほか	30	益田市教育委員会	研究	8 月 25 日～9 月 9 日
5	三田谷遺跡出土土器ほか	271	八雲立つ風土記の丘	企画展	8 月 22 日～11 月 30 日
6	来美廃寺出土瓦ほか	161	斎宮歴史博物館	特別展	9 月 12 日～11 月 18 日
7	出雲国府出土鴟尾ほか	19	出雲弥生の森博物館	企画展	10 月 26 日～2 月 17 日
8	青木遺跡出土土器ほか	153	荒神谷博物館	企画展	11 月 9 日～3 月 10 日
9	古屋敷遺跡出土種子	1 箱	パレオ・ラボ	研究	11 月 18 日～5 月 31 日
10	富田河床遺跡出土青磁ほ か	4	古代出雲歴史博物館	常設限定展 示	12 月 1 日～2 月 15 日
11	青木遺跡出土九州系甕ほ か	105	八雲立つ風土記の丘	ミニ企画展	12 月 12 日～3 月 5 日
12	タテチョウ遺跡出土弥生土 器ほか	11	古代出雲歴史博物館	常設展示	2 月 14 日～3 月 31 日
13	出雲国府出土土器ほか	93	古代出雲歴史博物館	企画展	3 月 1 日～5 月 16 日
14	東淵寺古墳出土埴輪ほか	48	八雲立つ風土記の丘	速報展	2 月 24 日～6 月 11 日
15	西川津遺跡出土石器ほか	14	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展	3 月 1 日～6 月 30 日

#### (4) その他

所蔵する機材や物品の貸出に応じている。

	物品名(点数)	貸出先	使用目的	貸出期間
1	電子秤・マルチエッカードほか(3)	古代文化センター	調査研究	7月11日～7月18日
2	火起こし道具(10)	出雲養護学校みらい分教室	体験学習	7月22日～7月25日
3	火起こし道具(15)	松江市立湖北中学校	体験学習	9月12日～9月15日
4	勾玉製作用棒ヤスリ	古代出雲歴史博物館	出前授業	11月4日～11月7日
5	写真貼り付けパネル	古代文化センター	出前授業	7月11日～7月13日
6	大型実測台	古代出雲歴史博物館	調査研究	1月10日～1月16日

### Ⅲ 研究事業

島根県古代文化センターの研究事業のうち、基礎研究「考古資料基礎研究事業」、およびテーマ研究について、以下のとおり当センター職員も参画し、共同研究の一翼を担った。

調査事業名	細事業	当センターの担当者
考古基礎調査研究事業： 青銅器調査	①三木資料整理・公開	柳浦俊一、増田浩太、中川 寧
	②荒神谷・加茂岩倉青銅器調査	
	③埋納地調査	
考古基礎調査研究事業： 基礎資料調査	出土品再整理	池淵俊一、中川 寧、 是田 敦
考古基礎調査研究事業： 墓制調査	①上竹矢7号墳調査報告	池淵俊一、是田 敦、仁木 聡、神柱靖彦
	②大草丘陵古墳群調査	
考古基礎調査研究事業： 生産遺跡調査	県内鑄造遺跡物師関連資料 集成	人見麻生
テーマ研究	隠岐産黒曜石の獲得と利用に 関する研究	柳浦俊一、伊藤徳広
テーマ研究	国家形成期の首長権と地域社 会構造に関する研究	池淵俊一、仁木 聡
テーマ研究	石見の中世領主の盛衰と東ア ジア海域世界 - 御神本一族を 軸に -	守岡正司
テーマ研究	古墳時代の玉類の研究	柳浦俊一
テーマ研究	たたら生産成立の研究	宮本正保、勝部智明
テーマ研究	前近代島根県域における人間 と自然	今岡一三、池淵俊一

### Ⅳ 研修事業

#### 1. 埋蔵文化財基礎研修

島根県及び県内市町村教育委員会等の埋蔵文化財担当職員のうち、埋蔵文化財調査未経験者または初心者を対象とした基礎的な研修。今年度は募集に対し下記のとおり実施した。

##### 【埋蔵文化財基礎講座】

日時：4/11（月）～4/15（金）

場所：埋蔵文化財調査センター研修室ほか

参加：4名

講師：島根県教育庁文化財課職員および島根県埋蔵文化財調査センター職員

内容：(1)講話 (2) 文化財保護行政の歩みと文化財行政の現状 (3) 埋蔵文化財保護行政の事務手続き（含埋蔵文化財発掘調査等にかかる島根県基準） (4) 発掘調査の計画と安全管理 (5)～(9)考古学概説Ⅰ～Ⅴ (10) 発掘調査に関連した諸科学 (11) 遺構・遺物の実測概論・実習

(12) 文化財写真概論・実習 (13) 報告書の作成と収蔵・活用

**【実技講座Ⅲ】**

日時：平成28年1月17日～19日

場所：埋蔵文化財調査センター研修室ほか

参加：2名

内容：報告書作成に関わる実技

**2. 埋蔵文化財専門研修**

島根県及び県内市町村埋蔵文化財担当者を対象とし、埋蔵文化財発掘調査に必要な専門知識や技術の習得を目的とした研修を実施した。

**【第1回】**

日時：平成28年6月24日（金）12：20～16：30

場所：埋蔵文化財調査センター研修室

参加：57名

テーマ：弥生時代資料の新視点－土器の使用痕・弥生時代祭祀具の研究事例から－

(1) 発表「弥生土器・土師器の使用痕の分析」 濱野 浩美 氏  
(米子市教育委員会文化課)

(2) 発表「青谷上寺地遺跡の弥生時代祭祀具」君嶋 俊行 氏  
(鳥取県埋蔵文化財センター)

**【第2回】**

日時：平成28年10月2日（金）13：20～16：30

場所：埋蔵文化財調査センター研修室

参加者：61名

テーマ：中世城館の調査方法

(1) 発表「中世城館の構造と発掘調査法」  
中井 均 氏（滋賀県立大学人間文化学部教授）

(2) 発表「発掘された島根の城館跡」  
西尾 克己 氏（大田市教育委員会嘱託）

**【第3回】**

日時：平成29年1月27日（金）13：20～16：00

場所：埋蔵文化財調査センター研修室

参加：29名

テーマ：奈良文化財研究所文化財担当者専門研修報告

(1) 講演「人骨・動物骨調査課程」  
中川 寧（島根県教育庁埋蔵文化財調査センター第二係長）

(2) 発表「保存科学Ⅲ（応急処理）過程」  
伊藤 徳広（島根県教育庁埋蔵文化財調査センター企画員）

#### 【第4回】

日 時：平成29年3月10日（金）10時00分～15時00分

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：51名

内 容：平成28年度県内発掘調査速報会

1. 松江市 出雲国府跡（10：00～10：30） 県埋文センター調査第四係長 是田 敦
2. 出雲市 久村鉦山跡（10：30～11：00） 県埋文センター調査第二課 仁木 聡
3. 大田市 静間城跡（11：00～11：30） 県埋文センター調査第一課長 今岡一三
4. 大田市 平ノ前遺跡（11：30～12：00） 県埋文センター調査第一課 伊藤 智
5. 益田市 榎坂窯跡・近世山陰道馬橋地区（13：00～13：30） 県埋文センター調査第三課  
久保田 一郎
6. 松江市 福浦法田峠2号墳・山代大畑遺跡（13：30～14：10） 松江市まちづくり文化財課  
主任 川上 昭一 氏
7. 松江市 魚見塚遺跡（14：10～14：40）（財）松江市教育文化振興財団 江川 幸子 氏
8. 鳥取県（乙亥正屋敷廻遺跡（14：40～15：10） 鳥取県埋蔵文化財センター文化財主事  
馬路 晃祥 氏

## V 会議・講習会参加

当センターが加盟している全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会の総会、中国・四国・九州ブロック会議及び研修会に参加した。

- (1) 総会 平成28年6月2日～3日 宮崎県宮崎市宮崎観光ホテル
- (2) 中国・四国・九州ブロック会議 平成28年10月13日～14日 山口県山口市山口県庁
- (3) 研修会 欠席

文化庁が主催する埋蔵文化財担当職員等講習会に2名が参加した。

第2回講習会 平成29年2月1日～3日 滋賀県大津市 滋賀県立県民交流センター

## VI 発掘調査事業

### 受託事業

平成28年度は7事業14遺跡の本発掘調査を行った。事業の内訳は国直轄事業の一般国道9号改築事業（出雲湖陵道路、湖陵多伎道路、朝山大田道路、大田静間道路、静間仁摩道路、三隅益田道路）、県庁耐震関連工事である。出雲湖陵道路予定地内では、浅柄Ⅲ遺跡で7世紀を中心とする集落遺跡を調査し、また、同市湖陵町の京田遺跡では縄文時代後期の遺構群を調査した。湖陵多伎道路予定地内では戦時中の砂鉄選鉱場である久村鉱山跡を調査した。朝山大田道路予定地内では、鈴見B遺跡と城ヶ谷遺跡の調査を行い、後者では7世紀代の竈付住居跡を確認した。今年度から発掘調査を開始した大田静間道路予定地内では、大田市静間町の静間城跡で15～16世紀に属する山城を調査し、隣接する平ノ前遺跡では6世紀の水路跡から県内では2例目となる歩揺付空玉が出土した。静間仁摩道路予定地内では、松林寺遺跡で丘陵斜面に立地する弥生時代後期の集落を調査した。三隅益田道路予定地内では4箇所の発掘調査を実施し、榎坂窯跡では近代に属する瓦窯跡やそれに付随する工房群の調査を実施した。また、県庁耐震工事に伴う発掘調査では城郭・城下町の普請に伴う造成土などを確認している。

### 学術調査

今年度は史跡出雲国府跡の発掘調査の国府中枢である六所脇地区周辺の面的調査を実施し、昭和期に検出されていた中枢建物であるSB19の全貌がほぼ明らかとなった。また、墓制調査では今年度は松江市竹矢町の上竹矢7号墳の補足調査を行い、前方部の墳端を確認した。

### 分布調査

今年度は、一般国道9号（福光浅利道路）改築事業の予定地内の分布調査と、大橋川及び江の川改修事業に伴う分布調査を実施した。

### 報告書作成

平成28年度は、一般国道9号（朝山大田道路）改築事業にかかる大西大師山遺跡・鈴見B遺跡の調査報告書と、一般国道9号（静間仁摩道路）改築事業にかかる古屋敷遺跡の調査報告書を3冊、大橋川改修事業に伴う官道下遺跡他の調査報告書1冊を刊行したほか、過去の調査事業の再整理事業報告書を1冊刊行した。



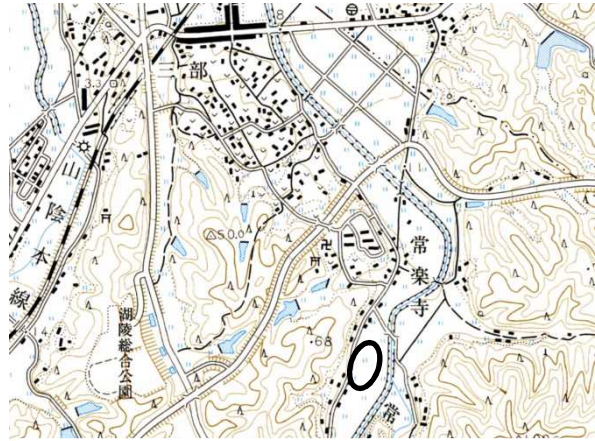
平成28年度 発掘調査箇所位置図

## 1. 一般国道9号（出雲湖陵道路）改築工事に伴う発掘調査

**調査概要** この調査は国土交通省松江国道工事事務所及び西日本高速道路株式会社から委託を受けて実施しており、平成26年度より実施して以来3年目となる。今年度は、平成27年度に続く京田遺跡と浅柄Ⅲ遺跡の調査を行った。

### 京田遺跡3区

本遺跡は出雲市湖陵町常楽寺に所在し、神西湖に注ぐ常楽寺川が開析した小さい谷あい位置する。本年度は昨年度調査区の東側に隣接する標高13mの水田部について調査を実施した。現地調査期間は平成28年5月30日から6月22日、調査面積は126㎡、調査体制は調査員1名と調査補助員2名である。



京田遺跡位置図（1/25,000 神西湖）

**遺構の概要** 調査の結果、ピット4基、土坑

2基を確認した。SK05は、径62cm、深さ22cmの円形の土坑で、約15cmの石が6個検出され、配石炉の可能性もある。内部からは縄文土器（沖丈式）が出土した。SK06は、径78cm、深さ9cmの円形の土坑で、上部からは小片の縄文土器や小円礫、骨片が多数出土し、廃棄土坑の可能性もある。ピットは径約20cmの円形である。

**遺物の概要** 縄文土器がコンテナ30箱、石器15箱ほど出土している。3層砂層から縄文時代後期後葉の凹線文土器群が、砂層下の4層からは縄文時代後期前葉の成立期縁帯文土器群（布勢式）から縄文時代後期中葉の権現山（新）式までが出土し、大部分が沖丈式である。一部に九州系の小池原下層式や鐘崎式が見受けられる。石器は、磨石、打製石斧、スクレイパー、石鏃が出土した。

**まとめ** 京田遺跡3区からは標高約12mで、ピット4基、土坑2基を検出し、縄文時代後期の縄文土器や石器が出土した。土坑は配石炉や廃棄土坑と考えられ、周辺に集落等が存在した可能性が高い。出雲平野では縄文時代の遺跡が確認されることは少なく、縄文時代の集落の立地や構造を検討していくうえで貴重な資料となった。（守岡正司）



京田遺跡遠景



完掘状況



## 浅柄Ⅲ遺跡

本遺跡は出雲市知井宮町浅柄に所在し、出雲平野の南側丘陵の小さい谷あいの標高8～12mに位置する。丘陵裾部と水田との境界付近の東向き緩斜面について調査を実施した。現地調査期間は平成28年7月19日から12月12日、調査面積は1,300㎡、調査体制は調査員1名と調査補助員2名である。

**遺構の概要** 調査の結果、加工段、土坑、溝、ピット等280近くを確認した。SD77は幅1～1.5m、長さ29mにわたり検出した近世の溝である。等高線に沿って掘削され、土層には下層には砂が堆積し、水路等の用途であった可能性がある。加工段7は幅4.5m、長さ2mを測り、山側から幅0.5m、長さ1.4mを測る作り付けの竈が検出された。加工段7からは、須恵器や土師器が出土し、7世紀代の遺構である。作り付け竈は、出雲平野周辺では初めての検出例である。DT08は南西端で検出した土器溜りである。土師器甕や甌、移動式竈、須恵器蓋坏等が出土した。7世紀後半の遺構である。本来は加工段であった可能性があるが、調査区外に続くため詳細は不明である。加工段の多くは、山際に溝を伴い、古代の土師器等が出土している。加工段6からは山際の溝から陶磁器が出土し、中世以降にも加工段が作られていたことが判明した。



浅柄Ⅲ遺跡位置図 (1/25,000 神西湖)

**遺物の概要** 古代の須恵器がコンテナ10箱、土師器23箱、土製品(移動式竈・土製支脚等)5箱、陶磁器1箱、石器1箱ほど出土している。7世紀後半を中心に、8世紀の遺物は確認できず、短期間営まれた集落である。その他、砥石や土錘が出土している。

**まとめ** 浅柄Ⅲ遺跡は、丘陵斜面から加工段や掘立柱建物跡、溝等を検出し、7世紀後半の須恵器や土師器、石器等が出土し、短期間営まれた集落であった。加工段には作り付けの竈を持つものがある一方、遺跡からは移動式竈や土製支脚も出土していることから作り付け竈の系譜や広がり、竈の時期、使い分け等を検討していくうえで貴重な資料となった。(守岡正司)



浅柄Ⅲ遺跡遠景



加工段7の作り付け竈

## 2. 一般国道9号（湖陵多伎道路）改築工事に伴う発掘調査

**調査概要** この調査は国土交通省松江国道工事事務所から委託を受けて実施した久村鉦山跡選鉦所地区の発掘調査である。



**久村鉦山跡選鉦場地区** 本遺跡は出雲市多伎町久村に所在し、久村川左岸（河口から約1.0km上流）の標高70mの丘陵尾根上と斜面に立地する。久村鉦山は株式会社日立製作所安来工場（現・日立金属株式会社安来工場）が1940（昭和15）年に開発をはじめた砂鉄鉦山である。最盛期（1944年頃）には採掘と選鉦に約200名が従事し、月産400～500tの精鉦を生産した。敗戦（1945（昭和20）年）により操業を停止し、1949（昭和24）年に閉山した。現地調査期間は平成28年10月27日から12月27日、調査面積は1400㎡、調査体制は調査員1名と調査補助員1名である。

**遺構の概要** 鉦石を砕くために使用された選鉦場をはじめ、それに関連する貯水槽、変電施設、ポンプ小屋などの各種施設の配置が明らかになった。選鉦場地区最高所に設置された貯水槽は直径10m、深さ3.5mある。ポンプ小屋は5m×7mのベタ基礎施工で、配電設備の溝が検出された。変電施設からは、変電機器を設置したと考えられるコンクリート製の構造物が複数個検出された他、電柱の抜き取り穴も検出された。変電施設はポンプ小屋をはじめ、選鉦場の場内に設置された鉦石を砕く粉砕機やベルトコンベヤーなどの大型機械に電力を供給した施設である。また、選鉦場に供

給された鉦石（こけつきてつ固結砂鉄）が出土している。この鉦石は1400万年～1500万年前に日本海沿岸に堆積した砂鉄（砂鉄層）が固まった一種の砂岩である。

**まとめ** 太平洋戦争時に、陸海軍の航空機エンジンに必要な特殊鋼材の生産を支えた久村鉦山は、戦時下に、国策による鉄鋼増産が行われた様子を知ることができる重要な近代遺跡である。操業当時の様子が記された資料との比較研究が可能となり、選鉦に関する具体的な工程を知るための貴重な手がかりを得ることができた。（仁木聡）



貯水槽



変電施設跡



選鉦所跡

### 3. 一般国道9号（朝山大田道路）改築工事に伴う発掘調査

**調査概要** この調査は国土交通省松江国道事務所から委託を受け、平成22年度から実施して以来7年目なる。今年度は、平成24・25年度に続く鈴見B遺跡及び平成26年度に続く城ヶ谷遺跡の調査を行った。また、平成26・27年度に調査を実施した大西大師山遺跡で、新たに横穴墓が発見され、急遽調査を行った。



遺跡の位置 (1/2,500 石見大田)

#### 鈴見B遺跡

本遺跡は大田市久手町波根西の旧波根湖南岸に位置する丘陵の東斜面で、付近の標高は、約29mである。本年度の調査区は、平成25年度調査区の中程に当たり、用地買収の関係で残されていた部分である。現地調査期間は平成28年5月10日～7月5日、調査面積は約200㎡、調査体制は調査員1名と調査補助員2名である。

**遺構の概要** 調査の結果、加工段、ピット、集石遺構などを確認した。加工段は、幅約4m、検出長8mで、平成25年度に調査した加工段に続くことが確認できた。加工段上にはピットや小さな溝が見られ、建物が建っていた可能性が高いが、明確なまともりは確認できなかった。また、3ヶ所で、自然石を集めた集石遺構を検出している。これらの用途は判らないが、調査区西側で検出した集石遺構2には、下部に土坑を伴っている。

**遺物の概要** 加工段を中心に須恵器・土師器が出土している。また、集石遺構1に近い調査区東側では土師器甕片がまともって出土した。これらはいずれも古墳時代後期のものと思われ、加工段などもその頃に営まれたと考えられる。

**まとめ** 今年度の調査区は平成25年度調査区の中程にあたり、25年度に確認していた加工段や溝が繋がっていることが確認できた。また、出土遺物から、古墳時代後期の集落跡だったことも追認できた。付近は、石見東部最大級の横穴墓密集地域であり、横穴墓群を造った人々の集落であった可能性もあり、当時の人々の生活の様子を復元していく上で貴重な資料を得た。(林 健亮)



鈴見B遺跡 加工段の調査風景



城ヶ谷遺跡 SI01

## 城ヶ谷遺跡

本遺跡は大田市久手町刺鹿の標高約 45mの丘陵とその斜面に位置している。西側斜面については、平成 26 年度に発掘調査を行い、石州瓦の登り窯を中心とする瓦工房跡と古墳時代後期の建物跡 3 棟などを検出していた。今年度の調査区は、用地買収の都合で残されていた丘陵の頂部周辺である。現地調査期間は平成 28 年 12 月 9 日～平成 29 年 1 月 20 日、調査面積は 230 m<sup>2</sup>、調査体制は調査員 1 名と調査補助員 2 名である。

**遺構の概要** 調査の結果、竪穴建物跡 2 棟を検出した。この内 SI01 は 1 辺約 4m の隅丸方形で南側に造り付けの竈を備えていた。壁面直下には、わずかに壁際溝と思われるくぼみがあるが、柱穴は確認できない。床面直上から須恵器短頸壺・坏、土師器甕が出土している。出土遺物から 7 世紀代に建てられたと考えられ、調査区際で検出した SI02 も同時期であろう。また、SI01 の埋土からは移動式竈が出土している。

**ま と め** 今年度の調査では、7 世紀代の竪穴建物跡 2 棟を検出した。平成 26 年度に検出した建物跡と同時期で、造り付け竈を備える構造がよく似ている。旧波根湖周辺での人々の活動の様子を示す貴重な資料を提供した。(林 健亮)

## 大西大師山遺跡

本遺跡は大田市久手町波根西に所在する、標高約 70m の東西に延びる長い尾根とその南斜面である。平成 26・27 年度に発掘調査を実施し、17 基の横穴墓などを調査した。今年度になって、新たに横穴墓が発見されたため、18・19 号横穴墓として、急遽調査を実施した。現地調査は、18 号横穴墓が平成 28 年 10 月 20 日～10 月 28 日、19 号横穴墓が平成 28 年 11 月 24 日～12 月 2 日。調査体制は調査員 1 名と調査補助員 2 名である。

**遺構の概要** 今年度の調査では、凝灰岩の岩盤に掘られた横穴墓 2 基を検出した。調査した横穴墓は、標高 52～62m の南向き斜面で検出し、いずれもほぼ正方形の玄室を持つ。天井高は約 1m で、ドーム天井に近い。各壁面は丁寧に整形されている。19 号横穴墓の前庭部から須恵器小片が出土した。

**ま と め** 大西大師山遺跡では、すでに 17 基の横穴墓が調査されており、今回調査の 2 基を含め、古墳時代後期に継続的に造られた横穴墓群であったことが確認された。(林 健亮)



城ヶ谷遺跡 SI01 の造り付け竈



大西大師山遺跡 19 号横穴墓

## 4. 一般国道9号（大田静間道路）改築工事に伴う発掘調査

**調査概要** この調査は国土交通省松江国道事務所から委託を受けて今年度から実施しており、静間城跡と平ノ前遺跡の2箇所の調査を行った。

### 静間城跡

大田市静間町の静間川左岸に位置する標高約27mの低丘陵に築かれた山城で、幅約20m、長さ約120mの細長い平坦面（主郭）、一段下がって幅約10m、長さ約25mの平坦面（北郭）と丘陵裾部の帯郭で構成されている。現地調査期間は平成28年5月16日～12月1日、調査面積は4,800㎡、調査員2名と調査補助員2名の体制で実施した。



遺跡の位置

**遺構の概要** 調査の結果、主郭で掘立柱建物跡と礎石建物跡や土塁の一部、北郭で多数の柱穴とともに鍛冶炉跡が確認された。なお、主郭東端から北郭にかけては中世遺構面の下層に古墳時代後期の遺構面が存在しており、竪穴住居跡や加工段、柱穴等を確認している。

掘立柱建物跡は4棟確認できた。このうちの3棟は2間×5間の規模を測る庇付建物で、両面庇1棟、片面庇2棟であった。これらは主軸が若干異なるものも認められることから時期差があるものと推測される。礎石建物跡は2棟確認した。2間×2間の小規模な建物であることから倉庫等の用途が想定されようか。土塁は主郭の周囲を廻らず部分的に2箇所確認され、1つには南隅でつぶて石が多数置かれた状態で検出されている。鍛冶炉跡は北郭から2基確認され、1号炉の内部には多量の炭と鉄滓が含まれていた。

遺物は包含層及び柱穴内などから出土しており、その大半は備前焼の播鉢や壺、中国製の青花や青磁の碗・皿などの日常雑器が占めているが、中には水指や天目茶碗、茶臼などの茶道具と考えられる遺物も含まれているのが注目される。これらの時期は15世紀後半～16世紀後半頃に位置づけられ、山城の存続期間もこの時期と理解される。

竪穴住居跡は主郭東端部分で一部が調査区外にかかる状況で検出されたため、平面形態は判然としないが隅丸形状と考えられる。西壁側とその東側に2条の溝が存在していることから、建て替えが行われたものと推測されるが、床面からは古墳時代後期の須恵器坏身や土師器の甕が出土している。

**まとめ** 山城については土塁の一部や切岸が検出されているが、堀切や竪堀などの他の防御施設は全く認められなかった。建物跡の規模からみると館跡の様相に近く、遺物をみても播鉢や碗、皿など生活に使われる陶磁器が大半を占めている。このことから静間城跡は山城という立地にありながら館跡の特徴も兼ね備えており、当時の社会状況の解明や山城の構造・性格などを研究する上で貴重な発見となった（今岡一三）。



主郭で検出された建物跡

## 平ノ前遺跡

静間城跡北東側の標高約 4～5mの平地に位置する。現地調査期間は平成 28 年 5 月 16 日～12 月 13 日、調査面積は 3,100 m<sup>2</sup>、調査員 2 名と調査補助員 2 名の体制で実施した。

### 遺跡の概要

**掘立柱建物跡** 掘立柱建物跡は、調査区の南部で検出された。検出面の標高は 4.0～4.5m である。建物跡は部分的に確認されたものも含めて 5 棟 (SB01～05) 検出された。SB01 は、2×2 間の総柱建物となる。SB04 は 3×6 間の床面積が約 90 m<sup>2</sup> となる大型建物となる。

柱穴などから出土した遺物より掘立柱建物の時期の上限は、7 世紀中葉頃と考えられる。

掘立柱建物と同時期の可能性のある遺構としては、ほぼ南北方向に流れている溝跡 (SD04)、周辺から<sup>ふいご</sup> 輻の羽口や鉄滓が出土した炭だまりなどが建物の東側で検出されている。

その他遺物では、漆の付着した須恵器数点、墨書土器 2 点、転用硯の可能性のある須恵器などが出土している。

**竪穴建物跡及び水路跡** 掘立柱建物跡の検出面から 5～30 cm 掘り下げた段階で、竪穴建物跡 5 棟、古墳時代の水路跡 1 条、溝跡 2 条、弥生時代の溝跡 2 条などを検出した。

調査区中央付近で南北方向の流路跡が確認された。幅は約 10～20m、深さは 2m 以上の規模である。南から北に流れる水路だったと考えられる。西側法面付近では大量の遺物が出土した。遺物の多くは人為的に廃棄された (置かれた) 状態で出土している。遺物は、須恵器、土師器、石製品、木製品ほか様々な遺物が完形土器も含めて出土している。特筆すべき遺物では、金銅製歩<sup>ほよう</sup>揺<sup>うつろ</sup>付空玉が 1 点出土している。水路跡からは弥生時代以降古墳時代後期の遺物が出土しているが、5 世紀後半から 6 世紀末の遺物が主体である。遺構の性格については、水辺の祭祀などが考えられる。この水路が機能する前の時期で竪穴建物跡が 5 棟確認されている。

### まとめ

調査区内からは縄文時代後期から江戸時代にかけての遺物が出土している。中世の遺物包含層からは、14～16 世紀にかけての備前焼、輸入陶磁が古墳時代の遺物に混じって出土している。

古墳時代中期 (5 世紀頃) から後期 (7 世紀後半頃) にかけては、遺構、遺物が集中している。金銅製歩揺付空玉は 5～6 世紀にかけての朝鮮半島で製作された可能性があり、その他、玉製品や様々な遺物が確認されている。掘立柱建物跡についても、梁行 3 間の大型建物跡が確認され、7 世紀の有力者の居館と推測される。当地の歴史を研究していく上で貴重な資料が提供されたと考えられる。(伊藤 智)



掘立柱建物跡 (静間城から)

## 5. 一般国道9号（静岡仁摩道路）改築工事に伴う発掘調査

**事業概要** この調査は、国土交通省から委託を受けて平成25年度から実施している。今年度は、垂水遺跡、松林寺遺跡、庵寺石塔群の調査を、調査員1名、調査補助員2名で実施した。

### 垂水遺跡

本遺跡は大田市静岡町垂水に所在し、国道9号線に並行して東西に延びる丘陵の上、東へ向く谷の上方に位置する。遺跡の標高は54～58mである。現地調査は平成28年5月23日から8月24日まで、調査面積は1,100㎡である。

**遺跡の概要** 垂水遺跡は砂丘の上に位置している。砂層の間に黒色砂層があるが、この黒色砂層は砂丘の活動が停滞している時期に形成されたいわゆる「クロスナ」層である。遺構は黒色砂層の中から焼土が3か所見つかった。また、砂層の中から拳大から人頭大の石が見つかった。遺物は奈良時代から平安時代の須恵器や土師器、土製支脚や移動式竈である。遺物は密集して出土することではなく、調査区の中央から東側で多く出土した。

**まとめ** 垂水遺跡の調査では、砂丘の上から奈良時代から平安時代にかけての多くの遺物が出土した。砂丘の上という生活に困難な土地にもかかわらず、須恵器や土師器という多くの生活用具が出土したことから、調査区に近接して集落が存在したことがうかがえる。

### 松林寺遺跡

本遺跡は、大田市仁摩町大国に位置し、南を向く丘陵の斜面に位置する。遺跡の標高は約30mである。現地調査は平成28年9月6日から11月25日まで実施した。調査面積は約600㎡である。

**遺跡の概要** 遺構として、掘立柱建物1、加工段2、柵1、土器埋設遺構1、土器溜1、焼土5を確認した。掘立柱建物は1×2間で、斜面を平坦に加工した部分に築かれている。土器埋設遺構は、土師器の大型の壺を横倒しにして、わずかに地面を掘りくぼめて土器を置いたものである。用途は不明である。遺物の時期は弥生時代後期から古墳時代前期である。弥生土器や土師器の壺、甕、高坏、鼓形器台などが、遺跡内の谷部を中心に多数出土した。また、土器溜からは土師器に伴い炭化した種子が出土した。

**まとめ** 松林寺遺跡のある丘陵の下には、同時期の集落遺跡で昨年度調査を行った大国地頭所遺跡があることから、潮川の右岸の丘陵斜面から丘陵裾にかけて、集落が営まれていたことがわかった。なお、弥生時代後期の北部九州系の壺が出土しており、日本海を介した地域間の交流が行われていたことがうかがえる。

### 庵寺石塔群

本遺跡は島根県大田市仁摩町大国字庵寺に所在する。調査対象地の上方の岩窟内に元禄二年(1688年)銘の宝篋印塔および正徳五年(1715年)銘の方柱状石塔がある。この岩窟の前面の平坦面に調査区を設定した。標高は約10～11mである。現地調査は平成28年11月28日から12月12日まで実施した。調査面積は約70㎡である。

**遺跡の概要** 遺構として、東西方向に延びる上下二層の石列を確認した。上層の石列は拳大の角礫を置いている。南が低く、南側から北向きを意識したものと考えられる。上層の石を取り上げると下から別の石列が見つかり、これを下層の石列とした。下層の石列は大きな角礫を1列置くのみのみである。石列の石は南側の面をそろえている。石列に伴う遺物は無く、石列以外の遺構は確認でき

なかった。出土遺物には、燈籠と考えられる石製品の破片、燈明皿、近世の陶磁器、瓦がある。時期の判る遺物は18世紀中ごろから19世紀の岩窟築造以降のものが大半である。

**まとめ** 庵寺石塔群の調査では、東西方向の石列を確認した。出土遺物には燈籠や瓦があったことから、岩窟の前面には小さなお堂や燈籠があり、その部分を保護するために石列が築造された可能性がある。石列は18世紀中ごろから19世紀にかけて築造・機能したと考えられる。なお、隣接する古屋敷遺跡では18世紀から19世紀の石を組んだ遺構が見つかっており、関連が考えられる。

(中川 寧)



垂水遺跡 (「大浦」)



松林寺遺跡・庵寺石塔群 (「仁摩」)



垂水遺跡・完掘状況



松林寺遺跡・土器埋設遺構



庵寺石塔群・完掘状況



## 6. 一般国道9号（三隅益田道路）改築工事に伴う発掘調査

**事業概要** この調査は浜田河川国道事務所から委託を受けて実施している。平成27年度から発掘調査を実施し、二年目となる今回は、浜田市三隅町地内の1遺跡と益田市土田町内の2遺跡、遠田町地内の1遺跡の発掘調査を2班体制で行った。



遺跡位置図 (1/25,000)

### 神出西遺跡

**調査概要** 国道9号線と益田道路が交わる交差点の東側、日本海に流れる遠田川の右岸に遺跡は存在する。現在は水田で、遠田川から徐々に丘陵へ向けて標高が上がっている地点となる。調査前

の水田を便宜上東から1区～4区と設定し、昨年度1～3区の調査を終了し、本年度は最北の4区を調査した。調査面積は1000㎡である。調査は平成28年11月4日～平成28年12月21日で、調査員1名、嘱託職員1名、調査補助員3名の調査体制で発掘調査を実施した。基本層序は、上から水田耕作土層、その下に①灰色粘土、②暗灰色粘土、③にぶい黄色粘土、④暗灰色粘土の順で、⑤明緑灰色粘土が遺構面となる。①②は中世～近世の遺物、③は土師器・須恵器を主とする古墳時代の遺物、④は少量の弥生土器を含む遺物包含層である。包含層から出土する土器のほとんどが細片であった。

### 遺構の概要



神出西遺跡 溝状遺構

遺構面では溝状遺構を三本検出している。SD01は昨年度調査区から続く溝である。出土した土師器甕の形態から、古墳時代中期とみられる。SD03, 04は調査区東辺で検出された遺構の上層から須恵器の横瓶が良好な遺存状態で出土した。須恵器の年代から、古墳時代後期の溝状遺構と推定される。SD04は少数の弥生土器片と磨製石斧が出土していることから、弥生時代の溝状遺構と考えられる。

**遺物の概要** 弥生土器は後期の甕の口縁が少数出土している。SD04から出土した磨製石斧も弥生時代に属するとみられる。SD01から出土した土師器の甕は口縁が直線的に外へのび、古墳時代中期と見られる。SD03から出土した横瓶はやや短小な個体である。時期は古墳時代後期とみられる。

**まとめ** 神出西遺跡では、弥生時代、古墳時代中期、古墳時代後期の溝状遺構を確認した。遠田川上流部では石見部最大級の古墳である大元1号墳が知られており、弥生時代

から古墳時代の遠田地域の様相を知る上で貴重な資料となった。(久保田一郎)

## 榎坂窯跡

**調査概要** 榎坂窯跡は益田市北端の土田町の丘陵地帯に位置し、南西から北東方向へ張り出す尾根の頂部から東斜面にかけて広がる。調査面積は、1800 m<sup>2</sup>である。5月24日～11月15日まで、調査員1名、嘱託職員1名、調査補助員3名の調査体制で発掘調査を実施した。

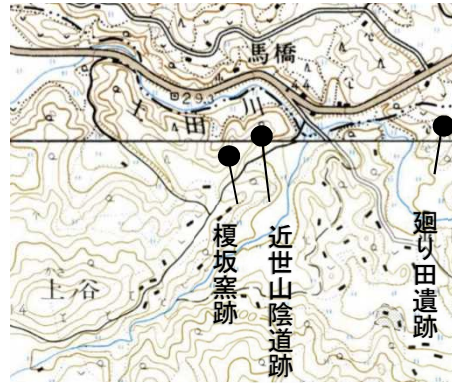
**遺構の概要** 尾根頂部では、粘土採掘跡や水簸跡を検出し、東斜面では連房式登窯、及び窯に隣接する全長50mの平坦面を確認した。

**連房式登窯** 尾根東斜面で連房式登窯を検出した。窯体上部の壁や天井部は失われて、窯壁の下部から床面が残っていた。焚口と焚口寄りの焼成室は調査区外であり、調査区内で確認できたのは上方の焼成室5室と煙道部分である。煙道部は、レンガ列と瓦積みにより構成される。縦に並んだレンガ列の列間が煙の通り道となり、棧瓦がその上面を覆い、上に粘土が貼られていた。

窯の底面にはレンガが置かれていた階段状の圧痕が残っていた。原位置を保ったレンガも少数残っており、レンガを階段状に積み上げた構造であったことが判明した。窯の内部からモミツチ、ハセ等瓦の焼成に用いられる窯道具が出土したこと、レンガを階段状に積んだ窯構造から、この窯が瓦窯であることがわかる。窯の周囲には排水溝がめぐる。底面には20～30cmの厚さでモミツチを充填している。水がモミツチの間を通過して排水される暗渠構造であったとみられる。

**粘土採掘坑** 尾根頂部では、粘土を採取した痕跡が広範囲にわたり確認された。尾根を掘削しながら粘土を掘り進み、後方へ排出された土砂が堆積することで、中央が細長く窪んだ地形が形成されたと考えられる。粘土採掘跡の中央が最も深く、底部には厚い砂層が形成されていた。この部分は、粘土を水簸して精製するための設備と考えられる。採掘坑の北部には、瓦やレンガを積んだ構造物が検出されたが、これらの用途は不明である。構造物に隣接して、モミツチや瓦が廃棄され、小規模な物原を形成していた。

**平坦面および礎石建物** 連房式登窯の北に隣接して、全長50mの平坦面を確認した。平坦面の北寄りの一部を除いて建物の礎石列が検出された。南端では3間×3間の小規模な建物が検出された。小規模な礎石建物の北に接して、より大規模な平坦面と、13間×4間の礎石建物を検出した。中央の土坑を境に礎石の配列が変化しており、礎石建物(大)は礎石が密な南部と、礎石の少ない北部とに区分できる。



遺跡位置(1/25,000)



連房式登窯



平坦面および礎石建物

**遺物の概要** 窯内部や物原から大量の窯道具が出土している。窯道具は瓦の焼成に用いられるモミツチとハセに限られ、陶器の焼成に用いられる焼き台等は出土しなかった。

瓦は物原および平坦面下方から大量に出土した。ほとんどが棧瓦である。軒棧瓦は中央に宝珠形、左右に四枚ずつの葉を描いた文様にほぼ限られる。他に熨斗瓦、鬼瓦、鳥伏間、袖瓦、雁振、軒丸瓦等各種の瓦が出土している。

陶磁器類は平坦面下方の斜面から出土した。大多数は職人が使用した生活雑器とみられるが、成形・釉薬が特徴的で榎坂窯で焼成されたとみられる陶器が少数ある。そのうち一点には底面に「江里製」の刻字があり、製作者名を示すとみられる。

**まとめ** 榎坂窯跡では、窯本体のほか粘土を採取した痕跡や、成形・乾燥等焼成前の準備作業を行ったとみられる建物群などの遺構がセットで検出され、瓦の製作工程全般にわたって検討が可能となる良好な資料が得られた。(久保田一郎)

## 近世山陰道跡（馬橋地区）

**調査概要** 益田市と浜田市の市境に流れる土田川及びその支流によって形成された丘陵斜面に立地した遺跡で、西方の同じ丘陵斜面には先述の榎坂窯跡が存在する。本遺跡は地元住民への聞き取り調査の結果、昭和50年代の水害により斜面が崩落していることがわかっており、遺跡の一部が流出及び埋没しているものと考えられた。調査面積は1,315㎡である。5月19日～9月14日まで、調査員1名、調査補助員2名の調査体制で発掘調査を実施した。基本層序は上から、表土層、崩落土層、水田耕作土層、地山層で遺構は地山層を掘り込んでいる。水田耕作土層は主に不透水層で平坦面でのみ確認されている。

**遺構の概要** 遺構は石敷きを伴う街道跡と棚田と考えられる平坦面が確認できた。街道跡は丘陵斜面を削り出した平坦面に築造されている。街道跡は遺跡の東側から徐々に斜面を登り西方へ延びている。街道の路面は大部分が石敷きで、路肩の外側に溝が伴う。路面には長軸で約19mに渡って平坦な割れ面を持つ礫が多数敷かれていた。礫の大きさは最大径60cmである。礫と礫の間にはコンクリートが埋められていた。路面の最大幅は1.2mである。路面の下部には岩盤層を掘り込んだ長軸方向の溝があり、その中は真砂で満たされていた。溝の底面には2本の金属線が設置されていた。この金属線は昭和30年代から40年代にかけて設置された電話線であると判明し、路面そのものも電話線埋設時に改修を行ったことが明らかとなった。路肩の溝は排水用と考えられる。形状は不明瞭で溝の断面は半円形であるが、何度も掘り直されている可能性が高い。溝で出土した遺物は昭和期の瓶など新しいものである。

**遺物の概要** 出土した遺物はわずかで、江戸時代～昭和にかけての陶磁器や古銭である。街道周辺から寛永通宝や肥前系の磁器が出土しているが、街道に伴う遺物であるかは不明である。

**まとめ** 今回調査では、街道の路面と路肩際の溝、路肩に沿う石垣などが発見された。しかし、路面そのものは昭和期に改修を受けており、近世の路面の痕跡は残っていなかった。しかし、路肩に



昭和に改修された街道跡

沿って築かれた石垣は、覆土から明治期の磁器が出土していることや石材の大きさなどから遺跡内の棚田の石垣と明らかに様相が異なり、近世にさかのぼる可能性を指摘したい。古い街道は今回発見されなかったが、街道に関する遺構と周辺地形、文献の記載から近世山陰道は本遺跡を通っていたことがほぼ明らかとなり、貴重な成果が得られたと考える。(伊藤徳広)

## 廻り田遺跡

**調査概要** 浜田市と益田市との市境に近い丘陵の位置している。標高 92m を最高所とした丘陵の尾根に塚状の高まりが 2 ヶ所と、高まりに挟まれた道路状に延びた平坦面が調査前に確認されており、丘陵の下方には近世山陰道推定地があることから街道に関する遺構が存在する可能性があり発掘調査を行った。調査対象面積は 1,223 m<sup>2</sup> である。調査は 9 月 14 日～11 月 11 日までで、調査員 1 名、調査補助員 2 名の調査体制で発掘調査を実施した。遺跡の基本層序は、表土層と黄橙色土層の地山である。

**遺構の概要** 塚状の高まりはにぶい黄橙色土層（地山層）の上に旧表土層である灰褐色土層が薄く堆積しており、その上層に明赤褐色土層とにぶい黄橙色土層が互層に堆積して盛土層を形成している。東側の塚状遺構（東塚）は直径約 4.0m、高さ約 0.7m で、西側の塚状遺構（西塚）は直径約 3.9m で高さ約 0.6m である。二つとも旧表土層の上に築かれているが、埋設された遺物や施設、墓穴など上から掘り込まれた遺構も確認できなかった。また、塚頂部から裾部、またその斜面下方に亜角礫や亜円礫、円礫が散布していたが、原位置は保っていない。二つの高まりは出土遺物も無く築造年代や遺構の性格を検討可能な構造物も確認できなかった。道路状遺構は、東塚と西塚に挟まれた部分を中心に造られた平坦面で、東塚と西塚を結ぶ線上で幅が約 6.0m あった。平坦面が確認できる長軸は約 22m で平坦面の両際の一部には溝状の掘り込みが見られたが、溝状遺構の内面は凹凸が激しく人為的なものでは無い可能性が高い。道路状遺構には砂や礫が敷かれておらず、柱穴や足がかり状の掘り込みも見られなかった。出土遺物はなく、遺構の性格年代は不明である。

**遺物の概要** 今回の発掘調査では遺物は出土しなかった。

**まとめ** 今回の発掘調査で廻り田遺跡は街道に関する遺跡と断定はできなかった。しかし、2 ヶ所の塚状遺構は人為的に盛り土された遺構であり、平坦な道路状遺構も確認できた。周辺住民にもその存在をほとんど知られていないことから、近年造られた遺構でないことは明らかである。

一般的に塚状遺構の性格として想定できるのは、①古墳②古墳以外の墳墓③一里塚④経塚などであるが、塚状遺構の間に道路状遺構を伴うこと、近世山陰道推定地が近い地域を通っていることから一里塚あるいはその構築途中のものである可能性があると考えている。

今回発見された遺構と近世山陰道との検討を今後も行い、一里塚など街道に関する発掘調査の類例が蓄積され、研究が進むことで今回の発掘調査の成果が活用できると考えている。(伊藤徳広)



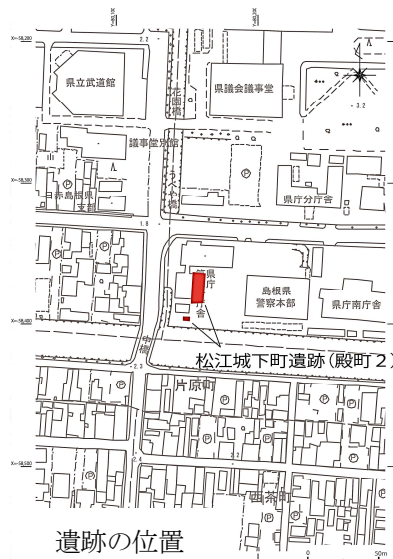
塚状遺構と道路状遺構

## 7. 県庁第二分庁舎非常用発電機整備工事等に伴う埋蔵文化財発掘調査 (松江城下町遺跡殿町2)

**調査概要** 松江城下町遺跡の調査は、島根県総務部管財課から依頼を受けて実施した発掘調査である。調査対象地は松江城内堀と外堀の交差する北東角(松江市殿町二番地)にあり、松平期松江城下町絵図(万延元～文久元(1860～1961)年)によると平賀氏の屋敷地に相当する。調査範囲は二箇所設定されており、それぞれ20㎡(オイルタンク埋設箇所)、199㎡(第二分庁舎増築箇所)である。前者の現地調査期間は平成28年7月4日から7月13日、後者のそれは平成28年11月14日から11月30日である。調査体制は、調査員1名と調査補助員1名の合計2名で行った。

**遺構の概要** 今回の調査では、明治期の造成土と複数回にわたる近世の造成土が明瞭に検出できた。また、堀尾期の造成(標高90cm～100cm)に伴う基盤層に、土取りの痕跡が認められた。5m以上×3m以上と考えられる土取り坑は、堀尾期の造成直後に埋め戻されているが、人頭大の松江層群の粘土ブロック土が底面に大量に堆積していることから、軟弱な地盤への埋戻しに配慮した所作と思われる。また、調査区の東側で石垣状の石列と石組みを検出した。堀川が近接することから、舟入等に伴う石垣の名残であった可能性もあるが、舟入を傍証する近世・近代史料が今のところ未発見である。石垣状遺構の構築が近世に遡る可能性は明らかにできなかったが、周辺の出土資料から、昭和初期に廃絶したものと考えられる。

**まとめ** 今回の調査では、江戸初期(堀尾期)から幕末・明治期までの造成土を確認することができた。また、堀尾期に伴う土取り坑と施工年代不明の石垣状遺構が検出された。屋敷地に関連する遺構や遺物は検出できなかったが、近世から近現代の陶磁器片等が攪乱層等から出土している。残存する造成土の堆積状況から推定屋敷地である調査区北東に向け盛土が高くなり、地盤固めを意識した造成を行っていたことが明らかになった。今後、土壌サンプルの花粉分析などを実施する予定であり、松江城下町の古環境復元に貴重な資料を提供する成果となった。(仁木 聡・人見麻生)



石垣状遺構 (オイルタンク埋設箇所)



調査区全景 (第二分庁舎増築箇所)

## 8. 島根県原子力防災センター地下オイルタンク埋設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（松江城三之丸ノ内跡）

**調査概要** 松江城三之丸ノ内跡の調査は島根県原子力防災センターから依頼を受けて実施した発掘調査である。調査対象地は島根県立図書館駐車場の南（松江市内中原町 52 番地）にあり、松平期松江城下町絵図（万延元～文久元（1860～1961）年）によると御花畑の一面に相当する。調査対象面積は 28 m<sup>2</sup>、調査期間は平成 28 年 9 月 12 日～9 月 16 日、調査体制は、それぞれ調査員 1 名と調査補助員 1 名の合計 2 名で行った。

### 遺構の概要

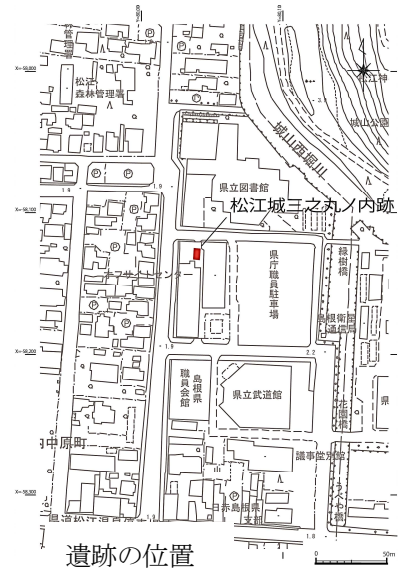
近世の造成土単位と畑作層が明瞭に検出できた。とくに、類例のない松江城北方の亀田山や赤山等に由来すると思われる礫を用いた造成土の堆積が確認された。構造物をはじめとする遺構の検出や出土遺物は皆無であった。

### まとめ

造成土以外の遺構・遺物の検出はなかったが、御花畑における栽培植物や自然環境を同定すべく、花粉分析と AMS 年代測定を実施した。その結果、近現代の造成土直下の層位（御花畑作土）で畑作が行われていることが判明した。御花畑作土からは、ソバ属、ワタ属の花粉が検出され、ソバ・ワタが栽培されていたことが明らかになった。このほか、アカザ科 - ヒユ科、ナデシコ科の花粉も比較的高率を示したことから、アカザ（ヒユ）、ナデシコが栽培されていた可能性も指摘できる。

一方、松江城の西側では城下町形成以前の調査事例が少なく、自然史の観点からも松江城西側の末次砂州の形成については、不明な点が多かった。しかし、花粉分析と AMS 年代測定の結果、他所で実施されている松江城下町遺跡同様に、縄文時代後期の堆積物を近世頃の湿地成堆積層が覆っていることが確認できた。この湿地成堆積層からはイネ科（40 ミクロン以上）花粉が高率で出現するほか、水田雑草由来と考えられる湿性植物由来の花粉も多く検出されており、この湿地堆積層が水田耕作土と考えられることを追認できた。ここに、松江城三之丸形成に由来する造成が行われ、最終的に御花畑作土が形成されたのである。

（仁木 聡）



遺跡の位置



調査風景



土層堆積状況

## Ⅶ 学 術 調 査 等

### (1) 史跡出雲国府跡

**調査概要** 国庫補助事業として出雲国府跡の解明を目的に、平成 11 年度から平成 23 年度まで国庁の北側を中心に発掘調査を行い、平成 27 年度から国庁域の発掘調査を行っている。今年度は政庁正殿の東側を 180 m<sup>2</sup> 調査した。現地調査は 7 月 19 日～12 月 22 日まで、調査員 2 名、補助員 3 名で実施した。

**遺構の概要** 今回の調査では、政庁正殿の東側で、正殿に先行する建物として検出されていたが、規模が不明であ

った SB19 が、2 間 3 間の総柱の掘立柱建物であることを確認することができた。また SB19 の東側では、同

じ時期と考えられる建物もしくは塀の跡と考えられる遺構を検出した。これらの遺構は、政庁正殿と異なり、正方位を向かない。また政庁正殿と同じ正方位を向く建物は 3 棟検出した。1 棟は SB19 を切るかたちで重複する総柱の掘立柱建物跡である。規模は 2 間 3 間である。1 棟は正殿の北側で検出した礎石建物である。梁行き 2 間の建物で、桁行きは不明である。1 棟は正殿の東側で検出した礎石建物である。根石を検出しているが、規模は不明である。また別の場所で根石が残るやや大型のピットを 1 箇所検出している。これらの遺構の他に、古墳時代の堅穴建物 2 棟や、中世以降の遺構を検出している。

**遺物の概要** 須恵器、土師器、緑釉陶器、瓦などが出土した。中世の整地土層からは 9 世紀後半から 12 世紀の土師器が多く出土し、古代の遺構を検出した整地土層からは 7 世紀代の土師器と須恵器が多く出土している。特に注目される遺物としては、昭和の耕作土層から出土した、山代郷南新造院跡の軒丸瓦 I 類の軒丸瓦がある。

**ま と め** これまで不明な点が多かった政庁正殿周辺について、古墳時代の遺構をはじめ、政庁より古い 7 世紀代の建物跡や、正殿と関係する礎石建物を発見したことで、政庁正殿があった当時の周辺の状況と、その前後の状況を詳しく検討する資料を得ることができた。(是田 敦)



史跡出雲国府跡の位置 (S=1/25,000 松江)



山代郷南新造院跡 I 類の軒丸瓦



調査区近景 (南から撮影)

## (2) 考古資料基礎調査研究（墓制調査）

### 上竹矢7号墳

**調査概要** この調査は、島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターが「考古資料基礎調査研究（墓制調査）」事業の一環として実施した。上竹矢7号墳については、平成26年度に墳丘の測量とトレンチに掘削による発掘調査を実施したが、墳形の解明に課題を残したため、今年度に追加調査を行った。現地調査は7月14日～8月24日まで、調査員3名、補助員1名で実施した。

**遺構の概要** 今回の調査では前方部を横断する林道の法面を精査し、土層断面の測量と撮影を行った。その結果、上部は盛土で築造され、端部は地山削り出しで築造されていることを確認できた。また、地形変換点が2箇所確認できることから、二段築成であったと考えられる。遺物は出土しなかった。

**まとめ** 今回の調査で、上竹矢7号墳が全長約66mの二段築成の前方後円墳であることが確認できた。

(是田 敦)



上竹矢7号墳の位置 (S=1/25,000 松江)



前方部墳頂の土層堆積状況



前方部墳裾(南側)の土層堆積状況

## (3) 考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）

当事業は、過去に県教育委員会が発掘調査を実施して現在当センターで収蔵している出土品のうち、報告書非掲載遺物を中心に再整理を実施してその内容を明らかにするとともに、市民が容易に利用できるようデータベース化をはかることを目的として実施しており、今年度が5年目となる。

今年度は、これまで実施した松江市意宇平野の集落遺跡（布田遺跡、夫敷遺跡、上小紋遺跡、向小紋遺跡、神田遺跡、四配田遺跡）の出土品再整理で得られた調査成果を公開するため、調査研究報告書の刊行を実施した。

(是田 敦)



#### (4) 保存処理・理化学分析

遺跡から発掘された遺物の多くが、木製品は水漬けパック、金属製品が酸化防止システムでのパックという状態で「仮保管」されている。「仮保管」では遺物の劣化が進みやすく、展示などの活用が制限されてしまうため、これらの問題を解消するために年間を通して継続的に作業を進めている。水漬け木製品は、遺物の状態によってポリエチレングリコール (PEG) と糖アルコールでの保存処理を使い分けている。自然乾燥してしまった木製品はアクリル樹脂を塗布、又は含浸することで強化し遺物の形状を維持する。金属製品はクリーニング、脱塩、アクリル樹脂の減圧含浸による防錆・強化を行なっている。処理後の遺物は温湿度管理下において保管している。上記以外の材質の遺物も、脆弱なものに対して随時、処置を施す。

赤外線観察・X線撮影・蛍光X線分析に関しては、調査現場、報告書撮影、保存処理での活用のほか、市町村教育委員会・大学等を対象とした撮影・分析も行なっている。

#### 平成28年度 作業実績

出土遺物の保存処理は、未処理または、一度保存処理を施されているが状態が悪化したものについて、表1・2のとおり実施した。保存状態や活用機会の可能性を考慮して、保存処理計画を作成するとともに、古代出雲歴史博物館の展覧会や外部機関への貸し出しに対応するために、随時計画を調整して保存処理を進めている。

また、調査現場からの要請を受け、脆弱な遺物に応急処置を施した(表3)。

理化学分析は表4のとおり実施した。これらの分析結果は報告書作成等に反映された。

(澤田正明・上山晶子)

#### ① 保存処理業務実績

表1 木製品

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
国道9号線バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書6(1989)				
夫敷	38図-1	鋤柄	アクリル樹脂塗布	完了
夫敷	38図-3	部材等	アクリル樹脂塗布	完了
一般国道9号(安来道路)建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書8(1996)				
岩屋口南	131図-1	舟形木製品	アクリル樹脂塗布	処理中
岩屋口南	131図-2	田下駄	アクリル樹脂塗布	処理中
遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
朝酌川河川改修工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書II(1982)				
西川津	21図-1	広楯	トレハロース含浸	完了
西川津	21図-5	丸楯	トレハロース含浸	完了
朝酌川河川改修工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書IV(海崎地区2)(1988)				
西川津	125図-77	狭楯	トレハロース含浸	処理中
西川津	151図-217	円形容器底	トレハロース含浸	完了
西川津	152図-222	柄杓未成品	トレハロース含浸	完了
西川津	152図-223	コップ型容器	トレハロース含浸	完了
西川津	153図-229	匙	トレハロース含浸	処理中
西川津	153図-231	匙	トレハロース含浸	処理中
西川津	153図-233	匙	トレハロース含浸	処理中
西川津	157図-249	狭楯	トレハロース含浸	処理中
西川津	158図-256	匙	トレハロース含浸	処理中
西川津	164図-284	広楯	トレハロース含浸	処理中
遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
朝酌川広域河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書11(1999)西川津遺跡VI				
西川津	65図-5	泥除け	トレハロース含浸	完了
西川津	66図-6	田下駄か	トレハロース含浸	完了
西川津	66図-7	弓状未成品	トレハロース含浸	完了
西川津	67図-12	棒状木製品	トレハロース含浸	完了
西川津	134図-2	鋤	トレハロース含浸	完了
西川津	212図-17	板材	トレハロース含浸	完了
主要地方道松江島根線改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2(2013)				
西川津	161図-5	板状木製品	トレハロース含浸	完了
西川津	161図-6	加工材	トレハロース含浸	完了

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
朝酌川河川改修工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書V(海崎地区3)(1989)				
西川津	73図-23	丸楯未成品	トレハロース含浸	完了
西川津	74図-28	未成品	トレハロース含浸	完了
西川津	74図-29	未成品	トレハロース含浸	完了
西川津	74図-30	広楯	トレハロース含浸	完了
西川津	74図-31	丸楯未成品	トレハロース含浸	完了
西川津	78図-36	広楯	トレハロース含浸	完了
西川津	78図-40	広楯	トレハロース含浸	処理中
西川津	79図-44	広楯	トレハロース含浸	完了
西川津	80図-45	広楯	トレハロース含浸	完了
西川津	81図-52	広楯	トレハロース含浸	処理中
西川津	81図-53	丸楯	トレハロース含浸	完了
西川津	90図-106	匙状容器	トレハロース含浸	処理中
西川津	90図-107	匙状容器	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
朝酌川広域河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書11(1999)西川津遺跡VI				
西川津	65図-5	泥除け	トレハロース含浸	完了
西川津	66図-6	田下駄か	トレハロース含浸	完了
西川津	66図-7	弓状未成品	トレハロース含浸	完了
西川津	67図-12	棒状木製品	トレハロース含浸	完了
西川津	134図-2	鋤	トレハロース含浸	完了
西川津	212図-17	板材	トレハロース含浸	完了
主要地方道松江島根線改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2(2013)				
西川津	161図-5	板状木製品	トレハロース含浸	完了
西川津	161図-6	加工材	トレハロース含浸	完了

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
朝酌川河川改修工事に伴うタテチョウ遺跡発掘調査報告書III(1990)				
タテチョウ	203図-W329	曲物	アクリル樹脂塗布	完了
タテチョウ	204図-W339	方形曲物	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	223図-W434	桜皮	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	223図-W435	桜皮	トレハロース含浸	処理中
朝酌川河川改修工事に伴うタテチョウ遺跡発掘調査報告書IV(1992)				
タテチョウ	94図-W38	容器形製品	アクリル樹脂塗布	完了
タテチョウ	94図-W39	アカトリ状製品	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
国道431号道路改築事業(東林木バイパス)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書7(2009)				
山持	155図-3	板状製品	アクリル樹脂塗布	完了
国道431号道路改築事業(東林木バイパス)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書10(2012)				
山持	50図-1	礎盤	トレハロース含浸	処理中
山持	50図-2	礎盤	トレハロース含浸	処理中
山持	50図-3	礎盤	トレハロース含浸	処理中
山持	50図-4	礎盤	トレハロース含浸	処理中
山持	50図-5	礎盤	トレハロース含浸	処理中
山持	50図-6	礎盤	トレハロース含浸	処理中
山持	55図-1	柱	トレハロース含浸	処理中
山持	55図-2	柱	トレハロース含浸	処理中
山持	55図-3	柱	トレハロース含浸	処理中
山持	55図-4	柱	トレハロース含浸	処理中
山持	55図-5	柱	トレハロース含浸	処理中
山持	59図-1	柱	トレハロース含浸	処理中
山持	59図-2	柱	トレハロース含浸	処理中
山持	59図-3	柱	トレハロース含浸	処理中
山持	59図-4	礎盤	トレハロース含浸	処理中
山持	59図-5	礎盤	トレハロース含浸	処理中
山持	59図-6	礎盤	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
斐伊川放水水路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書5(1999)				
三田谷 I	186図-3	横樋	トレハロース含浸	完了
三田谷 I	186図-4	横樋	トレハロース含浸	完了
三田谷 I	188図-2	容器形木製品	トレハロース含浸	完了
三田谷 I	188図-3	容器形木製品	トレハロース含浸	完了
三田谷 I	188図-4	容器形木製品	トレハロース含浸	完了
三田谷 I	188図-7	容器形木製品	トレハロース含浸	完了
三田谷 I	189図-5	板状木製品	トレハロース含浸	完了

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
古代出雲歴史博物館建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書(2004)				
五反配	30図-142	田下駄	トレハロース含浸	完了
五反配	33図-162	田舟	トレハロース含浸	完了
五反配	47図-256	雑具部材	トレハロース含浸	完了
五反配	47図-257	雑具部材	トレハロース含浸	完了
五反配	50図-267	梯子	トレハロース含浸	完了
五反配	50図-268	梯子	トレハロース含浸	完了
一般県道矢尾今市線地方道路交付金事業(大塚工区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3(2016)				
高浜 I (2区)	16図-3	柱	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
一般国道9号(静間仁摩道路)改築工事に伴う発掘調査報告書(2017)				
古屋敷	-	素材束	トレハロース含浸	完了

表2 金属製品

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
中国横断自動車道尾道松江線建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書16(2009)						
鉄穴内	122図-M5	鉄鉗	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	完了	再処理
鉄穴内	123図-M7	鎌未成品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	132図-M30	鉄鉗	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	132図-M31	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	149図-M84	鉄鉗	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	完了	再処理
鉄穴内	149図-M85	鉄鉗	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	完了	再処理
鉄穴内	150図-M87	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	150図-M95	棒状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	150図-M98	棒状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M271	鉄鉗	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M274	鑿	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M275	鑿	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M278	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M279	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197図-M287	環状品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197図-M289	刀	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197図-M291	板状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197図-M294	棒状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198図-M299	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198図-M300	釘?	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198図-M302	釘?	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198図-M307	釘?	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	210図-M373	不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	243図-M416	鉄鎌	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	(反)非-1	鉄塊	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	再処理

遺跡名	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
浜田市三隅町 荻立横穴出土品 一括		鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	完了	新規
		金銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドB72)含浸	完了	新規

### 3 応急処置

遺跡名	資料名	処置方法	備考
石見銀山昆布山地区	土層剥ぎ取り	土層剥ぎ取り	
	木舞取り上げ	医療用ギプスで固定して取り上げ	
一般国道9号(出雲湖陵道路)改築工事に伴う発掘調査			
浅柄Ⅲ	骨	クリーニング・ビュートバルによる強化・接合	
一般国道9号(大田静間道路)改築工事に伴う発掘調査			
平ノ前	歩揺	クリーニング	

### ② 理化学分析

X線撮影と赤外線撮影は古代出雲歴史博物館において行なった。

表4 蛍光X線分析 ※平成28年1月4日～12月28日までに依頼があったもの

実施日	依頼者	内容	点数	備考
3月3日	松江市立玉作資料館	伝玉湯町出土するつぼ固着物の同定	1	
6月14日	出雲市	上塩冶築山古墳出土馬具・大刀装具の材質同定	9	
7月5日	島根県埋蔵文化財調査センター	古屋敷遺跡出土櫛の赤色顔料の同定	1	
8月1日～11月30日	島根県埋蔵文化財調査センター	古屋敷遺跡出土遺物付着の赤色顔料の同定	27	
9月20日	出雲市	上塩冶築山古墳出土馬具・銅鈴・鉄鍔付着赤色顔料の材質同定	9	
11月20日	出雲市	上塩冶築山古墳出土馬具・鍔金具の材質同定	2	
12月22日	益田市教育委員会	三宅御土居跡出土陶器付着物質の同定	1	

## 5. 試掘確認分布調査

事業(予算)	事業名	名称等(試掘実施時)	所在地	現地調査期間	調査対象面積(m <sup>2</sup> )	実施した調査(トレンチ面積合計)	調査概要	本調査の要否(本調査面積)	調査員
確認調査(国事業)	一般国道9号(出雲・湖陵道路)改築事業予定地	柿木田家下遺跡	出雲市湖陵町常楽寺	4月18日～4月25日	2050	トレンチ10か所(約45m <sup>2</sup> )	遺構なし、流れ込みの遺物少々	否	人見
		浅柄Ⅲ遺跡(丘陵部)	出雲市知井宮町浅柄	4月18日～5月27日	3200	トレンチ11か所(80m <sup>2</sup> )	遺構・遺物なし	要(370m <sup>2</sup> )	仁木
		京田遺跡(丘陵部)	出雲市湖陵町常楽寺	6月13日～6月20日	4600	トレンチ11か所(33m <sup>2</sup> )	遺構・遺物なし	否	仁木
		のの子谷横穴墓群	出雲市湖陵町常楽寺	9月6日	20	精査(20m <sup>2</sup> )	遺構・遺物なし	否	仁木池淵
		浅柄Ⅲ遺跡(水田部)	出雲市知井宮町浅柄	10月19日～10月21日	480	トレンチ3か所(約34m <sup>2</sup> )	遺構・遺物なし	否	守岡
	一般国道9号(朝山・大田道路)改築事業予定地	城ヶ谷遺跡(2区)	大田市久手町刺鹿3006-10ほか	6月28日～7月20日	2,400	トレンチ9か所	住居跡状の落ち込み・移動式竈	要(230m <sup>2</sup> )	林
	一般国道9号(大田・静間道路)改築事業予定地	要注意箇所28	大田市長久町長久字北山イ706番地1	7月5～8日	2500	トレンチ4箇所(32m <sup>2</sup> )	遺構、遺物とも検出しなかった	否	園山
		要注意箇所35	大田市鳥井町鳥井字宇津宮1115番地外	7月18～28日	4300	トレンチ7箇所(46m <sup>2</sup> )	遺構、遺物とも検出しなかった	否	園山
		要注意箇所45	大田市鳥井町鳥井字桜田1129番地乙	平成28年7月11～20日	1200	トレンチ4箇所(16m <sup>2</sup> )	横穴墓1基を確認した	要(1,200m <sup>2</sup> )	園山
	江の川改修工事	川平地区	江津市川平町南川上156-5他	5月30日～6月3日	3,000	トレンチ6箇所(26.5m <sup>2</sup> )	土師器皿出土	要(1530m <sup>2</sup> )	伊藤徳広
一般国道9号(三隅・益田道路)改築事業予定地	要注意箇所No.6	浜田市三隅町三隅594他	5月10日～5月19日	2,600	トレンチ3箇所(27.6m <sup>2</sup> )	遺構・遺物なし	否	久保田伊藤徳広	
確認調査(県事業)	大橋川河川改修	朝酌・矢田地区	松江市朝酌町矢田995-4ほか	9月26日～9月30日	1000	トレンチ10箇所(160m <sup>2</sup> )	木製品	否	池淵・勝部・神柱

平成28年度 埋蔵文化財調査センターが行った分布調査実績

事業(予算)	計画事業名	対象	調査期間	調査員
県事業	江津工業団地	江津市後地町	1月30日	池淵・伊藤徳
県事業	大橋川河川改修	白濁地区	12月6日	池淵・勝部
中国電力株式会社	知井宮連絡線	出雲市知意町～出雲市乙立町	2月14・16日・3月6日	池淵・神柱
国事業	福光浅利道路	大田市温泉津町～江津市後地町	2月21日～23日	池淵・中川・久保田・伊藤智・神柱・園山

## Ⅶ 県内発掘調査一覧

市町村など(※平成28年1月4日～平成28年12月28日に通知のあったもの)

番号	対象遺跡			発掘通知書			調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定期間	
1	その他の遺跡(城下町)	松江城下町遺跡(北田町132-10外)	松江市北田町132-10	松江市徳永隆	12.6	280112-280115	個人住宅
2	社寺跡	屋裏郷新造院推定地	雲南市大東町仁和寺1946-2外	雲南市教育委員会志賀崇	150	280112-280331	道路
3	その他の遺跡(城下町)	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町森村イ533-1・イ534-1・イ535-1	津和野町教育委員会伊藤悟郎	6	280119-280122	保存目的
4	集落跡	富原Ⅱ遺跡	松江市古志原3丁目1067番15	松江市徳永隆	65	280201-280205	個人住宅
5	散布地	観知寺付近遺跡	出雲市知井宮町573番地26	出雲市景山真二	2	280122-280122	道路
6	城館跡	浜田城跡	浜田市殿町123番地2	浜田市教育委員会藤田大輔	14	280215-280318	道路
7	集落跡	西津田岡遺跡	松江市西津田3丁目1546-6	松江市赤澤秀則	153	280307-280318	その他の建物(長屋住宅)
8	集落跡	乃木西廻Ⅱ遺跡	松江市上乃木4丁目2112番地1外	松江市徳永隆	83.7	280229-280304	宅地造成
9	散布地	光泉寺遺跡	松江市山代町349-1、196-4、349-9、349-10	松江市川上昭一	22.5	280317-280318	宅地造成
10	集落跡	半田浜遺跡	江津市二宮町神主1820-25 地先(至)同1820-27地先	江津市教育委員会伊藤創	1,000	280418-280729	土砂採取
11	集落跡	後廻遺跡	松江市上乃木3丁目607番2	松江市徳永隆	361.6	280418-280428	集合住宅
12	散布地	山代神社前遺跡	松江市古志原6丁目75-1、75-2、75-11	松江市川上昭一	22.5	280414-280415	その他の建物(病院)
13	集落跡	魚見塚遺跡	松江市朝酌町942-1、960-1	公益財団法人松江市スポーツ振興財団江川幸子	173.0	280425-280624	道路

14	集落跡	原山遺跡	出雲市大社町修理免1638番1 外2筆	出雲市原 俊二	16	280426-280427	その他開発(墓地造成)
15	古墳	山代二子塚古墳	松江市山代町495-7、497	松江市赤澤秀則	4	280510-280512	保存目的
16	官衙跡社寺跡	屋裏郷新造院推定地	雲南市大東町仁和寺1531-1外	雲南市教育委員会志賀崇	1,000	280420-290319	道路
17	散布地	古浦海岸遺跡	松江市鹿島町古浦	松江市赤澤秀則	36.0	280517-280520	道路
18	集落跡	外屋敷遺跡	松江市大庭町外屋敷800外	松江市川上昭一	64	280516-280523	学術研究
19	その他の墓	臼畑Ⅱ遺跡	松江市鹿島町古浦239-1外	松江市川上昭一	100	280523-280525	その他農業関係
20	集落跡	光泉寺遺跡	松江市山代町195-4外	公益財団法人松江市スポーツ振興財団廣濱貴子	377.8	280704-281031	宅地造成
21	水路跡	石見銀山遺跡温泉津中町地区	大田市大森町口152-2~口177沿い	大田市教育委員会中田健一	160	280526-280930	ガス・水道・電気等
22	水路跡	石見銀山遺跡温泉津寺町地区	大田市大森町口142-2~口152-2沿い	大田市教育委員会山手貴夫	100	280630-280831	ガス・水道・電気等
23	集落跡	八神上ノ原Ⅱ遺跡	江津市松川町八神115-1外 地先(至) 地先	江津市教育委員会伊藤創	1,500	280711-281228	その他の開発(堤防)
24	その他の遺跡(城下町)	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町鷺原口254	津和野町教育委員会伊藤悟郎、山本遙	3	280725-280805	保存目的
25	散布地	日御碕神社境内遺跡	出雲市大社町日御碕455	出雲市石原聡	330	280711-281231	その他開発(防災施設工事)
26	古墳	山代二子塚古墳	松江市山代町497	松江市赤澤秀則	5	280725-280729	個人住宅
27	散布地	白枝荒神遺跡	出雲市天神町25番1、22番3	出雲市原 俊二	16	280620-280625	宅地造成
28	その他の遺跡(城下町)	松江城下町遺跡(母衣町115)	松江市母衣町115	公益財団法人松江市スポーツ振興財団徳永桃代	426	280809-281121	その他の建物(社屋新築)

29	古墳	大元古墳群	益田市遠田町3629番地ほか	益田市教育委員会 佐伯昌俊	140	280901- 281031	保存目的
30	その他の遺跡(古代道路)	魚見塚遺跡	松江市朝酌町942-1	松江市 赤澤秀則	10	280801- 280810	保存目的
31	散布地	郷路橋遺跡	邑智郡邑南町市木1581番1	邑南町教育委員会 佐々木義彦	3.69	281101- 281231	その他開発 (携帯電話 基地局)
32	散布地	東原遺跡	出雲市知井宮町404番1	出雲市 須賀照隆	20	2811下旬- 2811下旬	集合住宅
33	集落跡	朝酌菖蒲谷遺跡	松江市朝酌町999-1外	公益財団法人松江市 スポーツ振興財団 徳永桃代	892.0	281215- 290526	道路
34	集落跡	山持遺跡	出雲市西林木町34番2	出雲市 須賀照隆	25	2812中旬- 2812中旬	集合住宅
35	集落跡	宮松遺跡	出雲市塩冶神前4丁目33番1	出雲市 須賀照隆	12	2812下旬- 2812下旬	集合住宅
36	散布地	山代鍛冶屋遺跡	松江市山代町字鍛冶屋464-4	松江市 徳永 隆	12	281215- 281222	宅地造成
37	集落跡	外屋敷遺跡	松江市大庭町外屋敷794-1外	松江市 川上昭一	57	281212- 281219	宅地造成
38	散布地	京田遺跡	出雲市湖陵町常楽寺	出雲市 幡中光輔	350	281205- 190331	道路
39	その他の遺跡(城下町)	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町森村ハ19番21、19番4	津和野町教育委員会 伊藤悟郎、渡辺聡	5.5	281212- 281228	保存目的
40	集落跡	外屋敷遺跡	松江市大庭町外屋敷800-13	松江市 川上昭一	13.6	281228- 290106	個人住宅
41	その他の遺跡(城下町)	松江城下町遺跡(奥谷町170-3)	松江市奥谷町109-2	松江市 徳永 隆	105	290110- 290115	個人住宅

県(※平成28年1月4日～平成28年12月28日に通知のあったもの)

番号	対象遺跡			発掘通知書			調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定期間	
1	集落跡	垂水遺跡	大田市静間町750-1	中川寧	1,350	280509-280812	道路
2	散布地 集落跡 貝塚	柿木田家下遺跡	出雲市湖陵町常楽寺287外	人見麻生	2,050	280418-280428	道路
6	散布地	京田遺跡	出雲市湖陵町常楽寺464番地	守岡正司	170	280509-280620	道路
7	その他の遺跡(街道)	近世山陰道跡(馬橋地区)	益田市土田町838-3他	伊藤徳広	1,300	280509-280729	道路
9	集落跡	鈴見B遺跡	大田市久手町波根西2515-10	林健亮	200	280510-280624	道路
10	生産遺跡	榎坂窯跡	益田市土田町838-3他	久保田一郎	1,800	280509-280930	道路
11	散布地	平ノ前遺跡	大田市静間町375-1ほか	伊藤智	3,100	280509-281202	道路
12	城館跡	静間城跡	大田市静間町1651-4外	今岡一三	4,800	280520-281202	道路
13	散布地 集落跡 貝塚	浅柄Ⅲ遺跡	出雲市知井宮町1716外	仁木聡	2,250	280418-281230	その他の建物(調整池)
14	散布地	京田遺跡	出雲市湖陵町常楽寺837-3	仁木聡	4,600	280613-280731	道路
15	その他の遺跡(城下町)	松江城下町遺跡	松江市殿町2番地	深田浩	40	280620-280630	その他の開発(発電機設置等)
16	集落跡	城ヶ谷遺跡	大田市久手町刺鹿3006-10	林健亮	80	280620-280722	道路
17	古墳	上竹矢7号墳	松江市竹矢町上竹矢後1604-2ほか	池淵俊一	20	280704-280831	学術研究
18	その他の遺跡(城下町)	松江城下町遺跡	松江市殿町2番地	人見麻生	159	280705-281231	その他の建物(県庁舎整備)
19	散布地 集落跡	浅柄Ⅲ遺跡	出雲市知井宮町1706外	守岡正司	1,560	280711-281227	その他の建物(調整池)
22	城館跡 城下町	松江城下町遺跡	松江市内中原町52番地	深田浩	44	280803-280810	その他開発(オイルタンク埋設等)
23	集落跡	松林寺遺跡	大田市仁摩町大国299番外	中川寧	1,030	280826-281130	道路
24	その他の墓	庵寺石塔群	大田市仁摩町大国字庵寺 3151番外	中川寧	90	281122-281222	道路
25	その他の遺跡(街道跡)	廻り田遺跡	浜田市三隅町岡見2555他	伊藤徳広	1,600	280829-281118	道路

26	横穴墓	のの子谷横穴墓群	出雲市湖陵町959外	人見麻生	20	280906-280908	道路
27	城館跡	松江城三之丸ノ内跡	松江市内中原町52番地	仁木 聡	28	280901-280930	その他の建物(県庁舎整備)
28	生産遺跡	久村鉦山跡	出雲市多伎町久村2212-2外	仁木 聡	1,400	281024-290131	道路
29	横穴墓	大西大師山遺跡	大田市久手町波根西2490-9	林健亮	20	281020-281111	道路
30	散布地 集落跡 貝塚	浅柄Ⅲ遺跡	出雲市知井宮町1710外	勝部智明	50	281014-281130	その他の建物(調整池)
31	集落跡	城ヶ谷遺跡	大田市久手町刺鹿3006-10	林健亮	230	281130-290131	道路
32	横穴墓	大西大師山遺跡	大田市久手町波根西2490-9	林健亮	30	281124-281202	道路



## VII 刊 行 物

### 1. ドキ土器まいぶん（島根県の埋蔵文化財情報誌）

名 称	発 行 月	部 数	内 容
ドキ土器まいぶん No.60	平成 28 年 9 月	10,000	平成 28 年度上期に実施した発掘調査、活用事業報告、報告書刊行案内、まいぶん出土遺物カードなど
ドキ土器まいぶん No.61	平成 29 年 3 月	10,000	平成 28 年度下期に実施した発掘調査、活用事業報告、パンフレット刊行案内、しまねのまいぶんミュージアムなど

### 2. 発掘調査報告書

報 告 書 名	部数	編集担当者	遺 跡 の 概 要
一般国道 9 号（静間仁摩道路） 改築工事に伴う埋蔵文化財発掘 調査報告書 1 古屋敷遺跡（A・E 区）	282	伊藤 智 柳浦俊一 渡邊正巳	<p>古屋敷遺跡A区では、縄文時代晩期の集落跡を確認した。集落跡からは、木棺墓、地床炉跡、ピット、土器だまりなどが検出され、彩文土器ほか大量の遺物が出土した。</p> <p>E区では、中世の流路跡、近世以降の石組みによる水路状遺構を確認した。</p>
一般国道9号（静間仁摩道路）改 築工事に伴う埋蔵文化財発掘調 査報告書 2 古屋敷遺跡（D区）	282	林 健亮	<p>古屋敷遺跡は大田市仁摩町大国の沖積平野東端に位置する、縄文後期から弥生前期の遺跡。このうち、D区の調査では、弥生前期の人工的な水路・縄文晩期に遡る木棺墓、西日本では検出例の少ない水さらし場遺構、非常に多くの地床炉や柱穴とともに、土器・石器をはじめ、呪術具など様々な遺物が出土した。</p> <p>縄文・弥生時代には遺跡近くまで海水面が入り込んでいて、海を介し多くの文化の交流があったと考えられ、縄文から弥生時代へ推移していく状況を考える上で、貴重な資料を得た。</p>
大西大師山遺跡 一般国道9号（朝山大田道路）改 築工事に伴う埋蔵文化財発掘調 査報告書7	276	宮本正保	<p>古墳時代後期の横穴墓と、近世～近代の採石場跡を確認した。石見地方東部では最大規模の横穴墓群で、大刀や象嵌をもつ金具など、金属製品や玉類、出雲、石見それぞれの特徴を持つ須恵器が出土した。6つの支群に分けられ、前庭・玄室などの形態が支群ごとに特徴を持つ。</p>

一般国道9号(朝山大田道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書8 鈴見B遺跡(3区)	276	林 健亮	鈴見B遺跡(3区)では、古墳時代後期の加工段とピット・土坑・集石遺構などを検出し、須恵器・土師器が出土した。古墳時代後期の石見部の具体的な様相を示す遺跡である。
一般国道9号(静岡仁摩道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3 古屋敷遺跡(C・F・H・I区)	288	増田浩太	古屋敷遺跡は大田市仁摩町大国の沖積平野東端に位置する縄文後期から弥生前期の遺跡。弥生前期の杭列を伴う溝状遺構(水路)や縄文時代晩期を中心とする多くの地床炉・柱穴が検出された。また土器・石器をはじめ、縄文時代晩期の漆塗り椀などが出土した。
斐伊川水系大橋川河川改修に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1 官道下遺跡・灘遺跡	270	勝部智明	両遺跡は松江市矢田町の大橋川右岸河川敷に立地する。官道下遺跡では流路跡を検出し、縄文時代から奈良時代の遺物が出土した。  灘遺跡では大橋川旧河道を検出し、平安時代に埋没したのちは、近世後期以降に杭列・盛土等で護岸を整備していたことが明らかとなった。

### 3. 発掘調査パンフレット

名 称	発行部数	概 要
魚見塚古墳・東淵寺古墳	4000	松江市所在の魚見塚古墳・東淵寺古墳の発掘調査の成果を分かりやすく紹介したパンフレット。A4 カラー8P。

### 4. 発掘調査だより(発掘調査事務所発行)

名 称	現 場 名	発 行 月	部 数	概 要
意字の杜	出雲国府跡	9月	840	地元小中学校、公民館、教育委員会など